

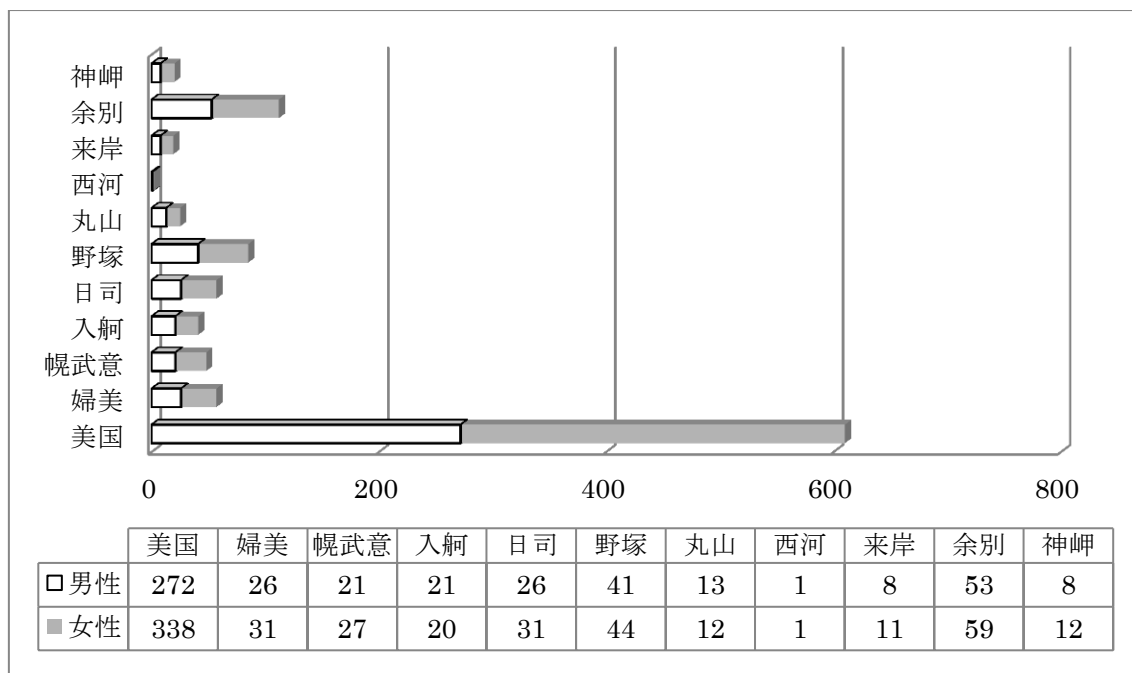
積丹町における健康と生活の意識調査

1 調査概要

本調査は公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(以下 B&G 財団と略す)が建設し、現在は積丹町へ無償譲渡し、積丹町が運営する積丹町 B&G 海洋センター(以下海洋センターと略す)の運営方針を決定する際の参考にする目的で行われた。質問項目は参考資料にあるアンケート用紙を見ていただきたいが、アンケート回答者の属性、健康や生活の状況、運動やスポーツの状況、町のイベントや施設への意識、地域活動への意識を問うものである。アンケート調査方法は 2015 年 7 月に積丹町の留置法で行われ、男性 497 名、女性 591 名、合計 1,170 名からアンケート調査用紙を回収した。

回答者の地区別、年齢別の状況は図表 1 になる。有効回答数 1,076 の内、地区別回答者に関して最も多い美国地区が全回答者の 56.7%を占める。きわめて回答者が少ない地区や年代もあり、地区別と年代別の回答分析の結果は注意を要する。

図表 1 回答者の居住地区と性別



調査の結果はアンケートの設問数が多いため、委託元の B&G 財団の意向を重視し、設問を絞り込み「2 住民の意識調査」と「3 B&G 海洋センターの利用調査」に分けている。記述的回答を選択肢で選ばせる設問ゆえに、分析手法はクロス集計を中心に行った。その分析した結果で明確な傾向を読み取れる設問が少なかった。

B&G 海洋センターの有効利用に関わる調査結果を簡潔に言えば、健康に気をつけ、運動

をしている回答者は少ないものの、運動をしなくても自身は健康であるという認識の回答者が多い。しかし、現実的には適度な運動は健康増進につながるので、運動を楽しめる施設である **B&G** 海洋センターにおいてスポーツをする住民を増やしていくことは重要である。また、女性は男性と比較して運動だけでなく、子どもの付き添いや集まった人たちとの交流を楽しむ傾向を持っていると推測されるので、**B&G** 海洋センターにおいて子供向けとその親向けに運動や交流を楽しめるイベント、教室、サークル活動等を実施、支援する。そうすることで住民の健康とより豊かな人間関係形成へ貢献し、**B&G** 海洋センターの利用増加を図っていく戦略が考えられる。

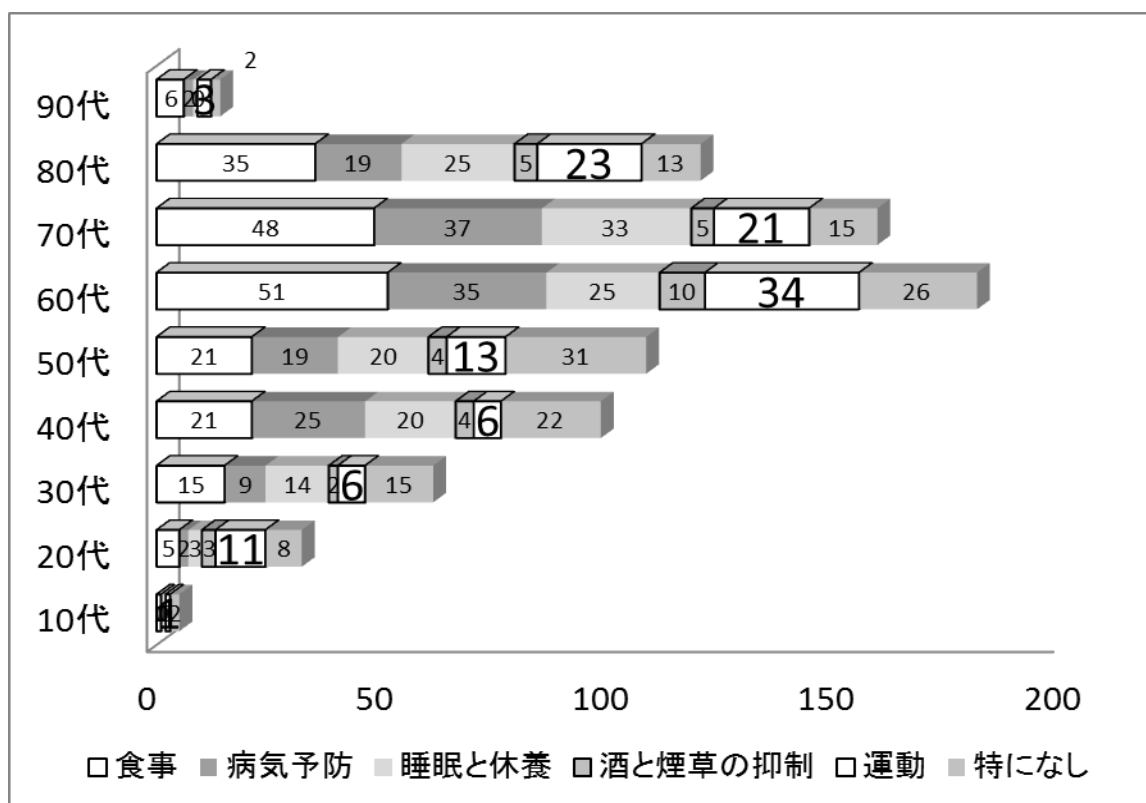
2 住民の意識調査

①健康状況

アンケートの問 3 では健康のために一番気をつけていることを複数回答可能で尋ねている。その結果を示した図表 2-1 は性別と年代別で分けて集計し、上のグラフが実数、下の表が比率で回答を示している。回答数が少ないので判断が難しいが、女性と比較して男性の方が若い世代から健康のために運動（太字で強調）をしている。働き盛りの 30 代と 40 代は男女問わず健康のために運動する回答者が減る。50 代以降、健康のために運動する回答者が増えていくが、特に男性は 80 代以上でも運動をする回答者が多い。日頃から運動をしている住民を B&G 海洋センターへより頻繁に来てもらう、運動から遠ざかった中年住民へ B&G 海洋センターへ来て運動するよう、イベントやサークル活動等で掘り起こしをしてはどうか。

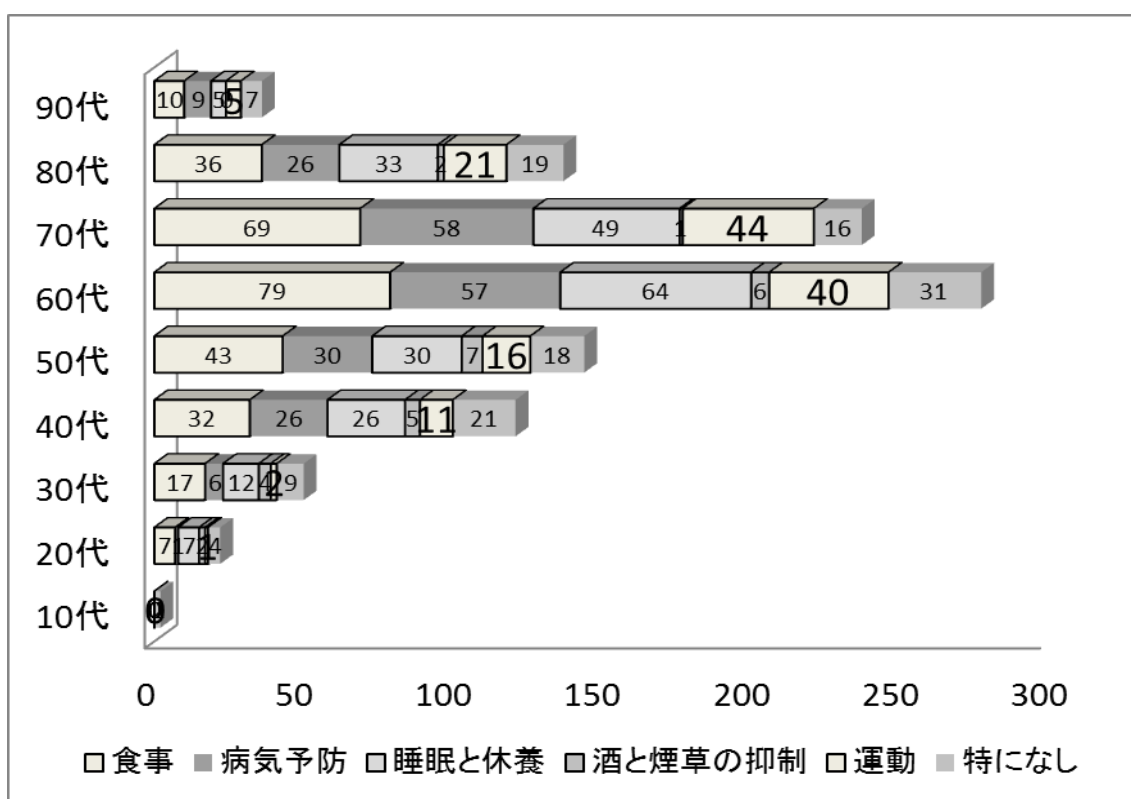
アンケートの問 7 は現在の回答者の健康状況に関する質問で、有効回答数は男性 457、女性 535、結果は図表 2-2 と 2-3 で示している。全体の傾向を見ると、年代が上がるに連れて健康に問題を抱えている。また、男性の方が高齢になっても健康に問題を持ちにくい傾向にある。居住地区別回答者の健康状況に関して高齢回答者が相対的に多い地区の結果も悪い傾向にある。

図表 2-1 健康に気をつけていること（複数回答可）
（男性回答者）



%	食事	病気予防	睡眠と休養	酒と煙草の抑制	運動	特になし
10代	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0
20代	15.6	6.3	9.4	9.4	34.4	25.0
30代	24.6	14.8	23.0	3.3	9.8	24.6
40代	21.4	25.5	20.4	4.1	6.1	22.4
50代	19.4	17.6	18.5	3.7	12.0	28.7
60代	28.2	19.3	13.8	5.5	18.8	14.4
70代	30.2	23.3	20.8	3.1	13.2	9.4
80代	29.2	15.8	20.8	4.2	19.2	10.8
90代	42.9	14.3	7.1	0.0	21.4	14.3
合計	26.1	19.0	18.3	4.2	15.2	17.2

(女性回答者)



%	食事	病気予防	睡眠と休養	酒と煙草の抑制	運動	特になし
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20代	31.8	4.5	31.8	9.1	4.5	18.2
30代	34.0	12.0	24.0	8.0	4.0	18.0
40代	26.4	21.5	21.5	4.1	9.1	17.4
50代	29.9	20.8	20.8	4.9	11.1	12.5
60代	28.5	20.6	23.1	2.2	14.4	11.2
70代	29.1	24.5	20.7	0.4	18.6	6.8
80代	26.3	19.0	24.1	1.5	15.3	13.9
90代	27.8	25.0	13.9	0.0	13.9	19.4
合計	28.6	20.8	22.0	2.6	13.6	12.4

図表 2-2 地区別回答者の現在の健康状況（比率）

（男性回答者）

	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬	回答計
非常に健康	30	3	1	1	1	5	2	0	0	3	0	46
まあまあ健康	124	14	10	10	14	12	4	0	6	23	1	218
普通	63	4	6	5	8	12	4	0	1	15	2	120
やや健康でない	30	0	5	1	2	4	2	0	0	4	1	49
健康でない	12	1	1	1	1	3	1	0	1	3	0	24
地区計	259	22	23	18	26	36	13	0	8	48	4	457

（女性回答者）

%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬
非常に健康	10.2	13.3	4.0	0.0	7.1	5.9	0.0	0.0	0.0	9.3	0.0
まあまあ健康	45.5	30.0	52.0	46.7	53.6	38.2	41.7	100.0	45.5	61.1	36.4
普通	26.1	36.7	28.0	20.0	25.0	35.3	25.0	0.0	27.3	13.0	45.5
やや健康でない	13.7	20.0	8.0	26.7	7.1	20.6	16.7	0.0	9.1	14.8	18.2
健康でない	4.5	0.0	8.0	6.7	7.1	0.0	16.7	0.0	18.2	1.9	0.0

図表 2-3 年代別回答者の現在の健康状況（比率） 単位：%

（男性回答者）

%	非常に健康	まあまあ健康	普通	やや健康でない	健康でない
10代	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
20代	16.7	54.2	16.7	12.5	0.0
30代	14.3	69.0	7.1	4.8	4.8
40代	13.6	48.5	28.8	6.1	3.0
50代	12.2	50.0	32.4	2.7	2.7
60代	9.3	51.9	25.9	11.1	1.9
70代	5.4	35.1	35.1	16.2	8.1
80代	3.4	32.2	25.4	22.0	16.9
90代	12.5	50.0	0.0	12.5	25.0
全世代	10.0	47.5	26.1	10.7	5.7

（女性回答者）

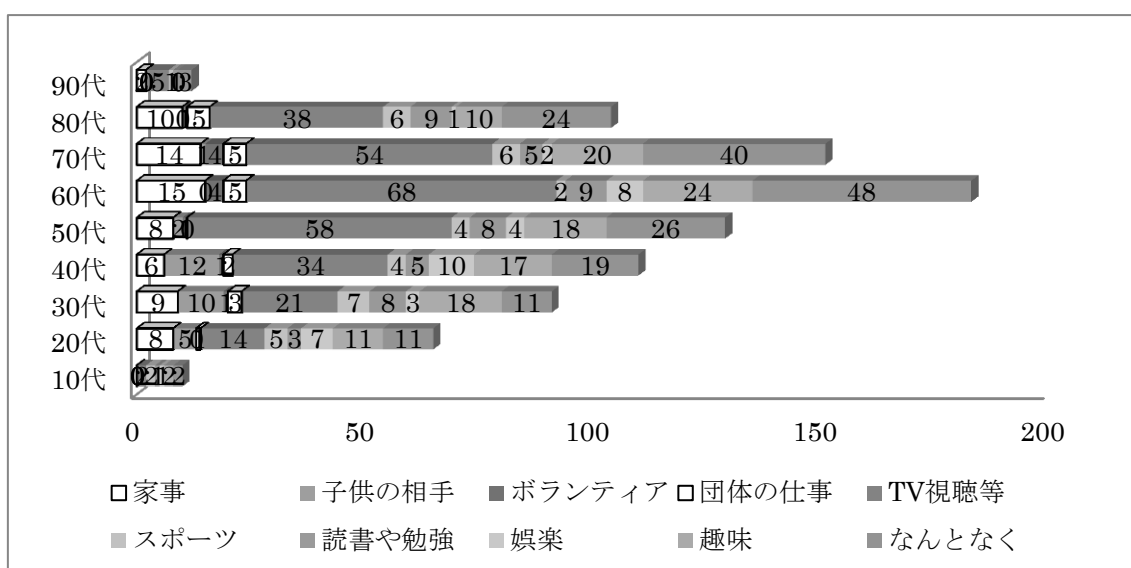
%	非常に健康	まあまあ健康	普通	やや健康でない	健康でない
10代	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20代	20.0	60.0	13.3	6.7	0.0
30代	28.1	59.4	3.1	9.4	0.0
40代	14.9	49.3	26.9	4.5	4.5
50代	6.4	61.5	25.6	6.4	0.0
60代	9.8	48.3	26.6	12.6	2.8
70代	2.8	40.2	31.8	20.6	4.7
80代	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3
90代	4.8	33.3	28.6	23.8	9.5
全世代	8.6	46.4	26.2	14.4	4.5

②余暇時間の使い方

アンケートの問 11 は平日の余暇時間を数字で回答させる質問で、有効回答数 870 の平均余暇時間は約 4 時間 50 分である。問 11-1 では余暇の過ごし方を尋ね、その結果を図表 2-4 で示している。平日の余暇の使い方に関して、若年回答者より中高年回答者の方がテレビ番組等の視聴を多く回答している。20 代から 40 代では特に子どもの相手という回答が多い。また、女性回答者の方が男性回答者より家事を多く回答している。平日の余暇時間が短いことから、運動を楽しめる場である B&G 海洋センターがより多くの利用者を集めることは難しいかもしれない。

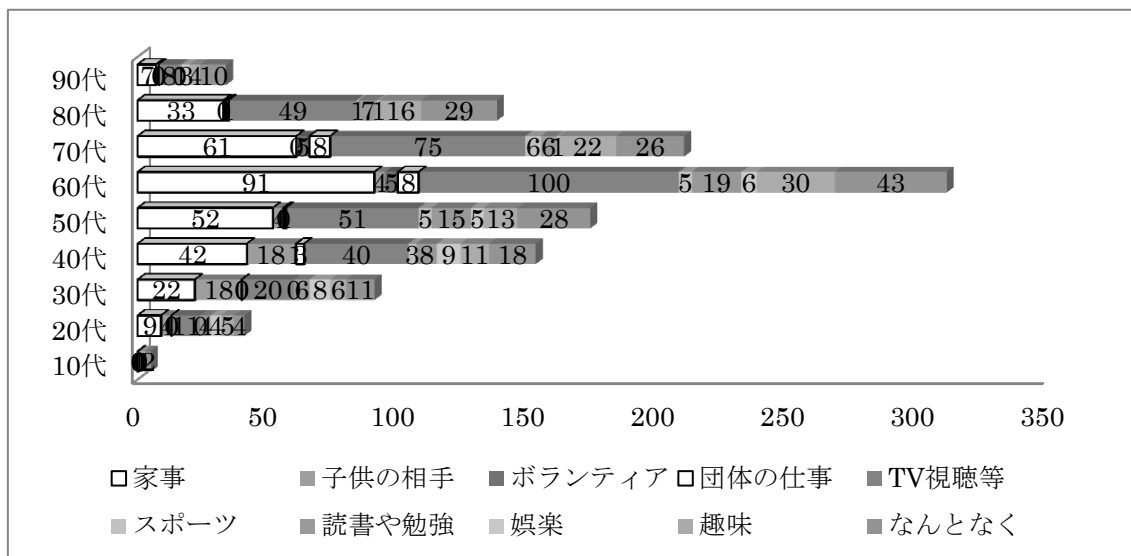
アンケートの問 12 は休日の余暇時間を数字で回答させる質問であり、有効回答数 783 の平均余暇時間は約 6 時間 55 分で、平日と比較すると約 2 時間長くなっている。問 12-1 では休日の余暇時間の過ごし方を尋ね、その結果は図表 2-5 で示している。休日の余暇時間の過ごし方は平日の傾向と大きな違いはないが、余暇時間が長いことから趣味や娯楽などで過ごす割合が増え、逆に手軽なテレビ番組等の視聴が減少している。女性は休日でも家事へ費やす時間が多く、趣味、娯楽、運動・スポーツをして過ごす割合は男性より少ない。

図表 2-4 平日の余暇時間の過ごし方（複数回答可）
（男性回答者）



%	家事	子供の相手	ボランティア	団体の仕事	TV視聴等	スポーツ	読書や勉強	娯楽	趣味	なんとなく
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0
20代	12.3	7.7	0.0	1.5	21.5	7.7	4.6	10.8	16.9	16.9
30代	9.9	11.0	1.1	3.3	23.1	7.7	8.8	3.3	19.8	12.1
40代	5.5	10.9	0.9	1.8	30.9	3.6	4.5	9.1	15.5	17.3
50代	6.2	1.6	0.8	0.0	45.0	3.1	6.2	3.1	14.0	20.2
60代	8.2	0.0	2.2	2.7	37.2	1.1	4.9	4.4	13.1	26.2
70代	9.3	0.7	2.6	3.3	35.8	4.0	3.3	1.3	13.2	26.5
80代	9.6	0.0	1.0	4.8	36.5	5.8	8.7	1.0	9.6	23.1
90代	16.7	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0	25.0
全年代	8.4	3.5	1.4	2.5	34.4	4.3	5.7	4.2	14.0	21.5

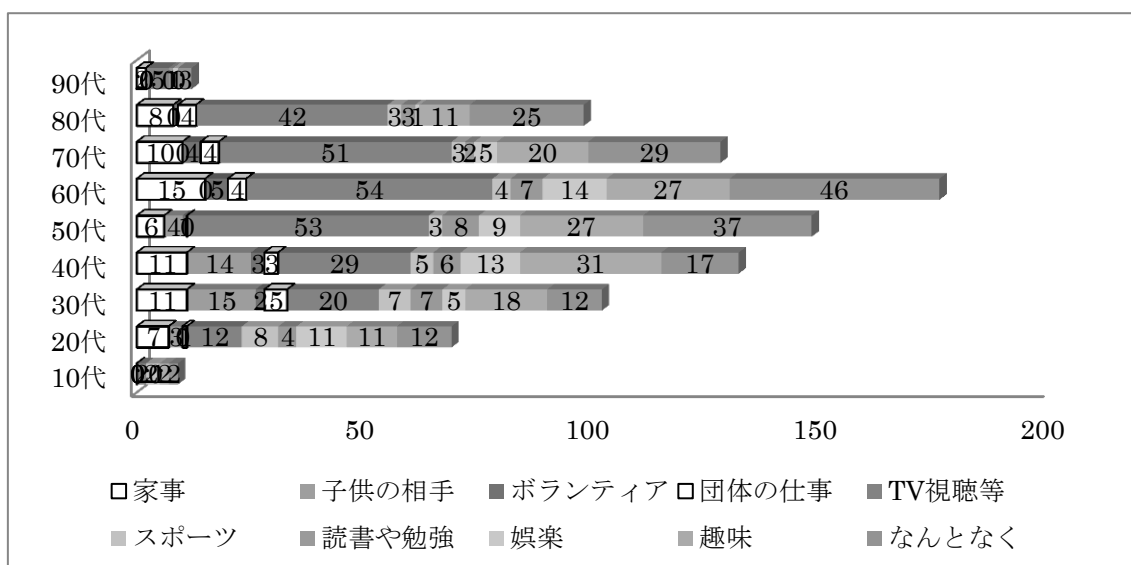
(女性回答者)



%	家事	子供の相手	ボランティア	団体の仕事	TV視聴等	スポーツ	読書や勉強	娯楽	趣味	なんとなく
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0
20代	22.0	9.8	0.0	0.0	26.8	0.0	9.8	9.8	12.2	9.8
30代	24.2	19.8	0.0	0.0	22.0	0.0	6.6	8.8	6.6	12.1
40代	27.5	11.8	0.7	2.0	26.1	2.0	5.2	5.9	7.2	11.8
50代	29.9	2.3	0.0	0.6	29.3	2.9	8.6	2.9	7.5	16.1
60代	29.3	1.3	1.6	2.6	32.2	1.6	6.1	1.9	9.6	13.8
70代	29.0	0.0	2.4	3.8	35.7	2.9	2.9	0.5	10.5	12.4
80代	23.9	0.0	0.7	0.7	35.5	0.7	5.1	0.7	11.6	21.0
90代	20.6	2.9	0.0	0.0	23.5	0.0	2.9	8.8	11.8	29.4
全年代	27.4	4.2	1.0	1.8	30.7	1.7	5.7	3.3	9.3	14.8

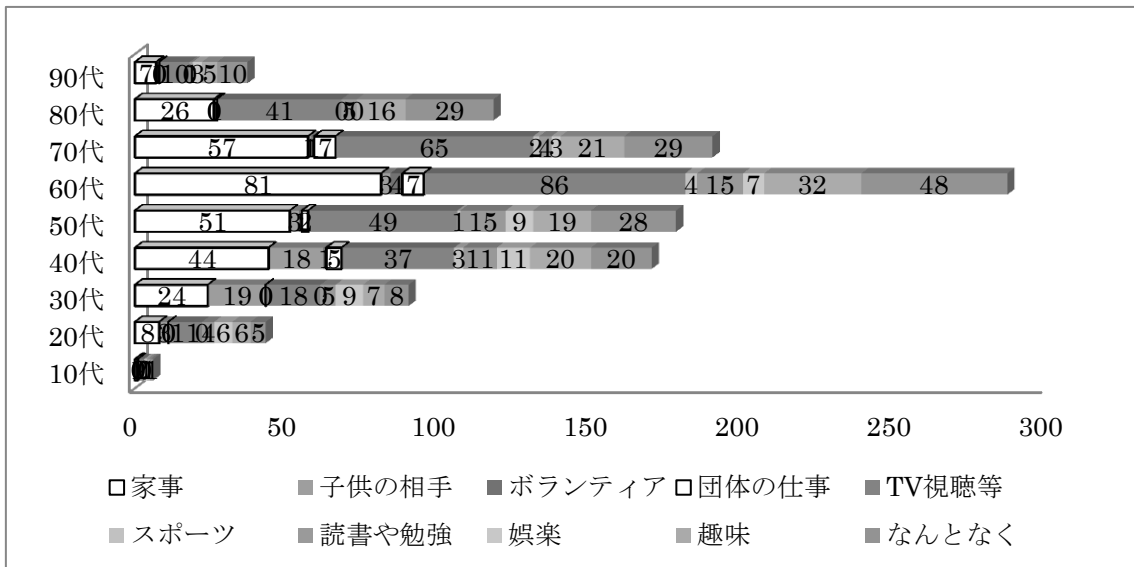
図表 2-5 休日の余暇時間の過ごし方 (複数回答可)

(男性回答者)



%	家事	子供の相手	ボランティア	団体の仕事	TV視聴等	スポーツ	読書や勉強	娯楽	趣味	なんとなく
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2	22.2
20代	10.1	4.3	0.0	1.4	17.4	11.6	5.8	15.9	15.9	17.4
30代	10.8	14.7	2.0	4.9	19.6	6.9	6.9	4.9	17.6	11.8
40代	8.3	10.6	2.3	2.3	22.0	3.8	4.5	9.8	23.5	12.9
50代	4.1	2.7	0.7	0.0	35.8	2.0	5.4	6.1	18.2	25.0
60代	8.5	0.0	2.8	2.3	30.7	2.3	4.0	8.0	15.3	26.1
70代	7.8	0.0	3.1	3.1	39.8	2.3	1.6	3.9	15.6	22.7
80代	8.2	0.0	1.0	4.1	42.9	3.1	3.1	1.0	11.2	25.5
90代	16.7	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0	25.0
全年代	8.0	4.1	1.8	2.4	30.7	4.0	4.3	6.9	16.8	20.9

(女性回答者)



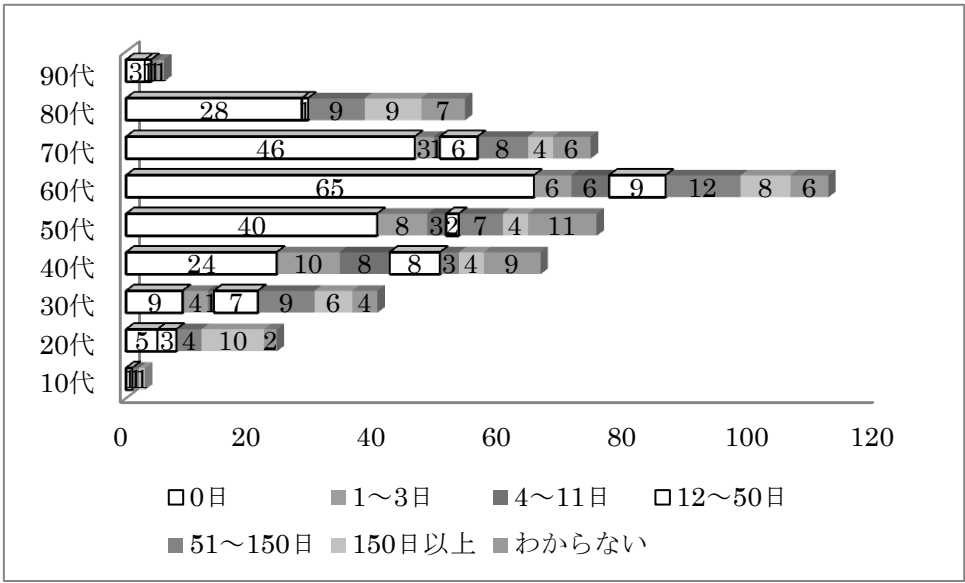
%	家事	子供の相手	ボランティア	団体の仕事	TV視聴等	スポーツ	読書や勉強	娯楽	趣味	なんとなく
10代	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7
20代	18.6	7.0	0.0	0.0	25.6	0.0	9.3	14.0	14.0	11.6
30代	26.7	21.1	0.0	0.0	20.0	0.0	5.6	10.0	7.8	8.9
40代	25.9	10.6	0.6	2.9	21.8	1.8	6.5	6.5	11.8	11.8
50代	28.7	1.7	0.6	1.1	27.5	0.6	8.4	5.1	10.7	15.7
60代	28.2	1.0	1.4	2.4	30.0	1.4	5.2	2.4	11.1	16.7
70代	30.0	0.5	0.5	3.7	34.2	1.1	2.1	1.6	11.1	15.3
80代	22.0	0.0	0.0	0.8	34.7	0.0	4.2	0.0	13.6	24.6
90代	18.9	2.7	0.0	0.0	27.0	0.0	2.7	8.1	13.5	27.0
全年代	26.7	4.3	0.6	2.0	28.5	0.9	5.4	4.4	11.3	15.9

③運動・スポーツの実施状況

アンケートの問 16 は 30 分以上の汗ばむような運動・スポーツを 1 年間でどの程度行ったかを尋ねた質問である。男性回答者の方が運動・スポーツを行っているが、それでもまったく運動・スポーツをしない回答者は男性で 5 割弱にのぼり、女性はさらに多く、6 割近くの回答者は運動・スポーツをしないと回答している。

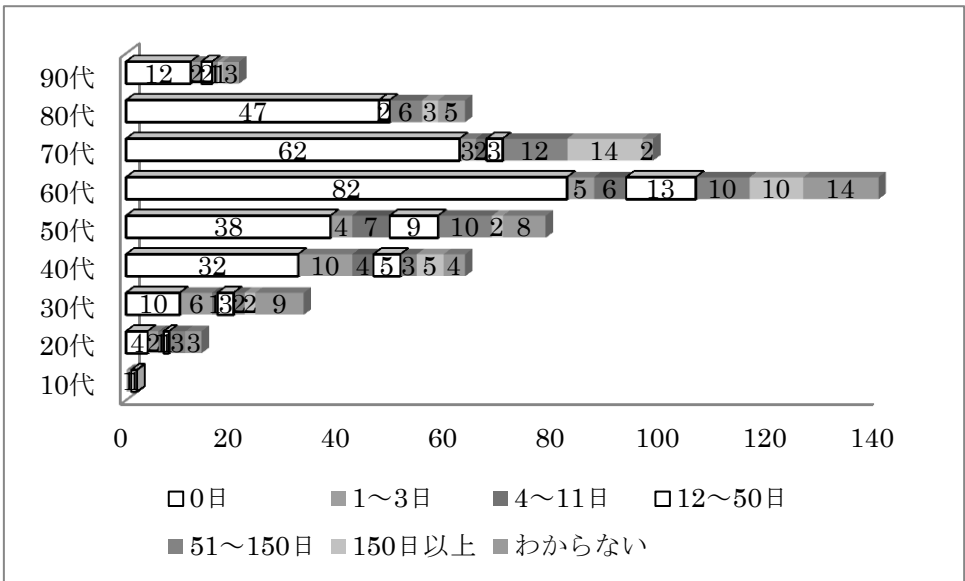
図表 2-6 年間の運動日数と年代別の割合

(男性回答者)



%	0日	1~3日	4~11日	12~50日	51~150日	150日以上	わからない
10代	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
20代	20.8	0.0	0.0	12.5	16.7	41.7	8.3
30代	22.5	10.0	2.5	17.5	22.5	15.0	10.0
40代	36.4	15.2	12.1	12.1	4.5	6.1	13.6
50代	53.3	10.7	4.0	2.7	9.3	5.3	14.7
60代	58.0	5.4	5.4	8.0	10.7	7.1	5.4
70代	62.2	4.1	1.4	8.1	10.8	5.4	8.1
80代	51.9	0.0	0.0	1.9	16.7	16.7	13.0
90代	50.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7
全年代	48.7	6.8	4.2	8.1	11.9	10.1	10.1

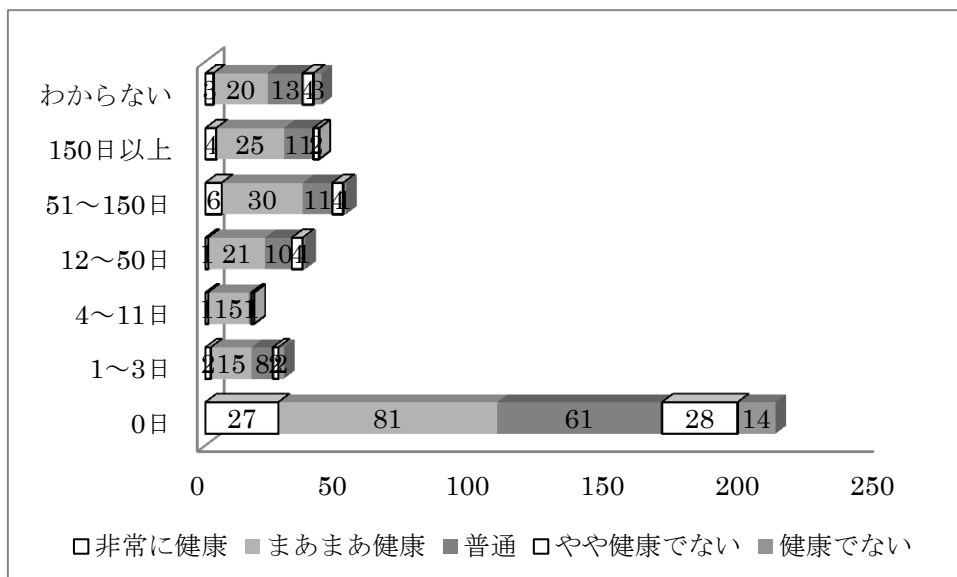
(女性回答者)



%	0日	1～3日	4～11日	12～50日	51～150日	150日以上	わからない
10代	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20代	28.6	14.3	7.1	7.1	21.4	0.0	21.4
30代	30.3	18.2	3.0	9.1	6.1	6.1	27.3
40代	50.8	15.9	6.3	7.9	4.8	7.9	6.3
50代	48.7	5.1	9.0	11.5	12.8	2.6	10.3
60代	58.6	3.6	4.3	9.3	7.1	7.1	10.0
70代	63.3	3.1	2.0	3.1	12.2	14.3	2.0
80代	74.6	0.0	0.0	3.2	9.5	4.8	7.9
90代	57.1	9.5	0.0	9.5	4.8	4.8	14.3
全年代	56.1	6.4	4.1	7.6	9.2	7.2	9.4

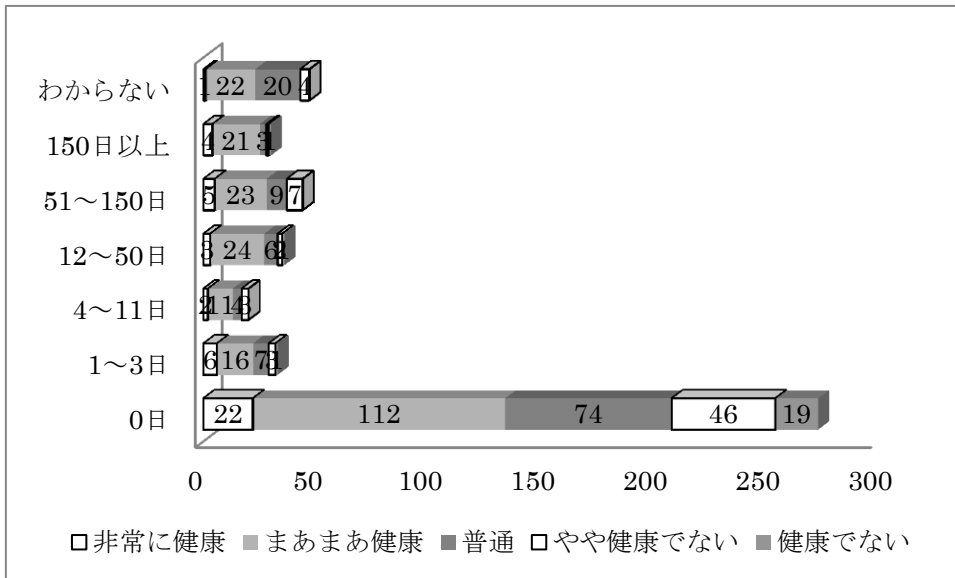
アンケートの問7の健康と問16の運動・スポーツ状況の関係を示したのが図表2-7である。運動・スポーツ実施状況が年間51日以上と回答した住民は「どちらかといえば健康でない」、「まったく健康でない」と回答する割合が低いと言える。運動・スポーツを行っているから健康なのか、健康だから運動・スポーツを行っているのかは分からないが、両回答には弱いながらも関係性を見いだせる。したがって、運動・スポーツを年間0日する（しない）という回答者はもっとも多いが、性別に関わりなく運動をしない回答者へ適度な運動・スポーツを推進することで、回答者の健康への認識が改善するかもしれない。

図表2-7 現在の健康状況と運動・スポーツの実施状況（実数と比率）
（男性回答者）



%	0日	1～3日	4～11日	12～50日	51～150日	150日以上	わからない
非常に健康	61.4	4.5	2.3	2.3	13.6	9.1	6.8
まあまあ健康	39.1	7.2	7.2	10.1	14.5	12.1	9.7
普通	53.0	7.0	0.9	8.7	9.6	9.6	11.3
やや健康でない	62.2	4.4	2.2	8.9	8.9	4.4	8.9
健康でない	66.7	9.5	0.0	4.8	4.8	0.0	14.3
合計	48.8	6.7	4.2	8.6	12.0	9.7	10.0

(女性回答者)



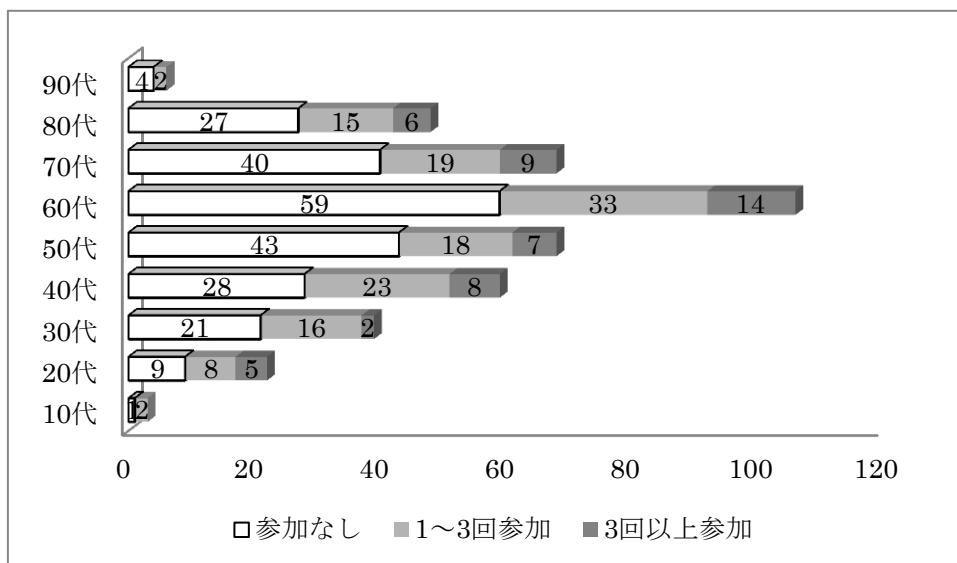
%	0日	1～3日	4～11日	12～50日	51～150日	150日以上	わからない
非常に健康	51.2	14.0	4.7	7.0	11.6	9.3	2.3
まあまあ健康	48.9	7.0	4.8	10.5	10.0	9.2	9.6
普通	60.2	5.7	3.3	4.9	7.3	2.4	16.3
やや健康でない	69.7	4.5	4.5	3.0	10.6	1.5	6.1
健康でない	86.4	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0
合計	56.5	6.8	4.1	7.5	9.1	6.2	9.7

④積丹町の行事への参加状況

アンケートの問20では積丹町が実施する行事への過去1年間での参加状況を尋ねている。有効回答数は918で、一度も参加したことがない回答者が53.9%、1～3回の参加経験を持つ回答者が35.8%、3回以上の参加経験を持つ回答者が10.2%となっている。その回答をさらに性別と年代別で細分化し、参加経験を示したのが図表2-8となるが性別、年代別での傾向を読み取りにくい。行事に関してしがらみゆえに参加しないとならない行事なのか、自分の関心にあった行事なのかで参加状況が大きく変わる。自由記述では参加したい行事がない、と厳しい意見もあり、町の行事への参加者を増やし、住民間交流を活発にするのであれば性別、年代、芸能、スポーツ、生涯学習等の行事内容を検討する必要がある。

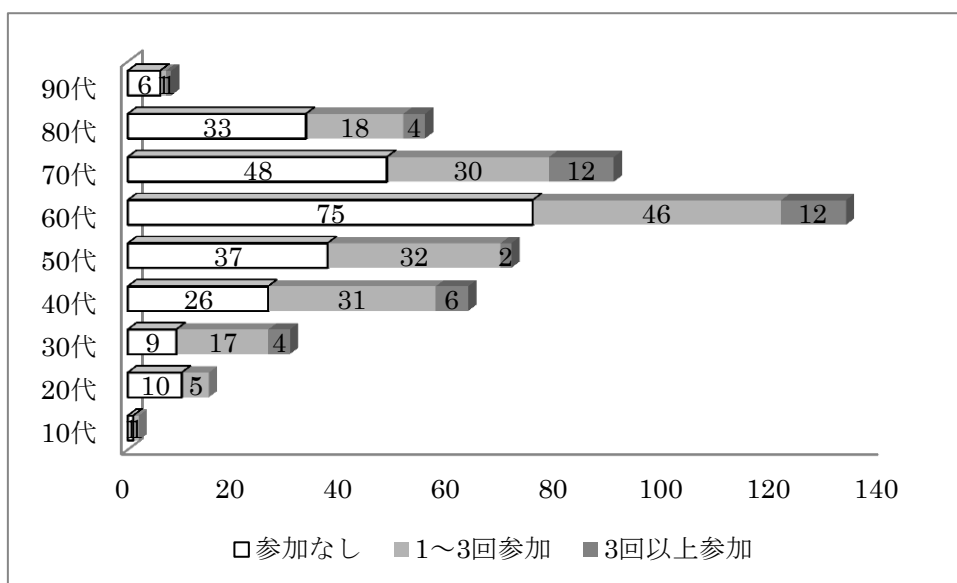
図表 2-8 町の行事への参加状況（実数と比率）

（男性回答者）



%	参加なし	1~3回参加	3回以上参加
10代	33.3	66.7	0.0
20代	40.9	36.4	22.7
30代	53.8	41.0	5.1
40代	47.5	39.0	13.6
50代	63.2	26.5	10.3
60代	55.7	31.1	13.2
70代	58.8	27.9	13.2
80代	56.3	31.3	12.5
90代	66.7	33.3	0.0
全年代	55.4	32.5	12.2

（女性回答者）



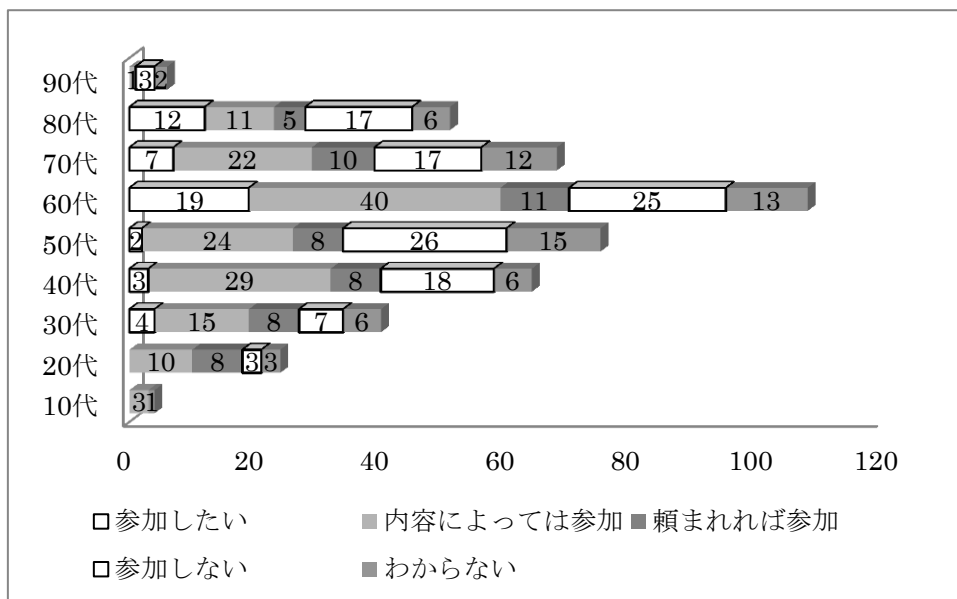
%	参加なし	1～3回参加	3回以上参加
10代	50.0	50.0	0.0
20代	66.7	33.3	0.0
30代	30.0	56.7	13.3
40代	41.3	49.2	9.5
50代	52.1	45.1	2.8
60代	56.4	34.6	9.0
70代	53.3	33.3	13.3
80代	60.0	32.7	7.3
90代	75.0	12.5	12.5
全年代	52.5	38.8	8.8

⑤ ボランティア活動への参加意向

アンケートの問 23 ではボランティア活動への参加意向を、自発性の程度から 3 段階に分け、さらに「思わない」、「わからない」、という 2 つの選択肢を加えて尋ねている。男女別と年代別とより詳細なデータは図表 2-9 となる。自発性の程度を問わなければ、6 割弱の回答者がボランティアをしても良いとしている。ボランティアの意向はあるものの、休日の余暇時間でボランティアと回答した人数が少ない。これはボランティアを行いたいけれど、ボランティアを行う機会が少ないのかも知れず、そうであれば社会的損失である。そこで、住民がボランティアを行える機会を行政、町内会、福祉団体、NPO 等が提供していくことも必要である。男女別では全年代で見るとボランティア参加意向に大きな違いはない。男性は高齢になるに従って、ボランティアをしない、という回答者の割合が増えるが、女性回答者の場合、年代別で大きなばらつきがある。

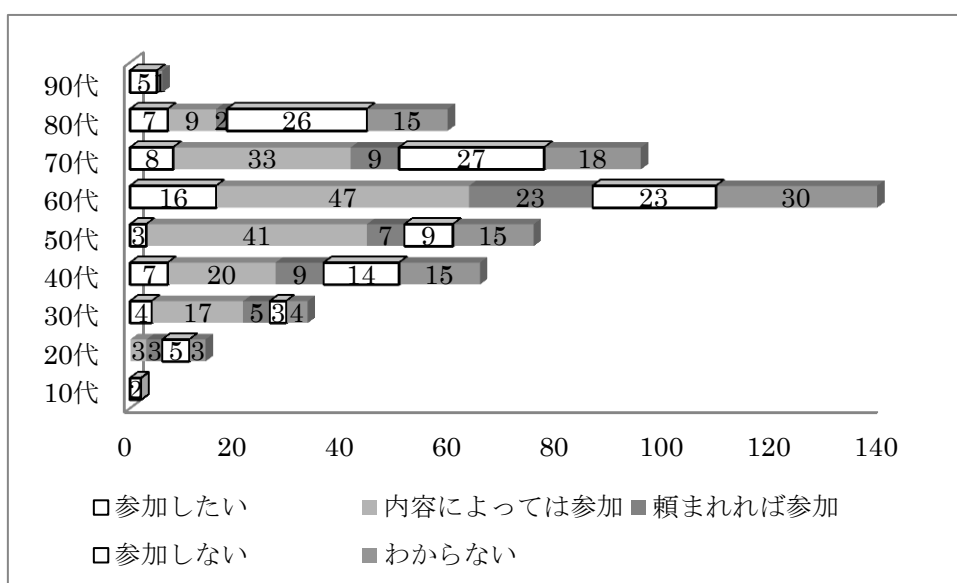
図表 2-9 ボランティアの参加意向（実数と比率）

（男性回答者）



%	参加したい	内容によっては参加	頼まれれば参加	参加しない	わからない
10代	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0
20代	0.0	41.7	33.3	12.5	12.5
30代	10.0	37.5	20.0	17.5	15.0
40代	4.7	45.3	12.5	28.1	9.4
50代	2.7	32.0	10.7	34.7	20.0
60代	17.6	37.0	10.2	23.1	12.0
70代	10.3	32.4	14.7	25.0	17.6
80代	23.5	21.6	9.8	33.3	11.8
90代	0.0	16.7	0.0	50.0	33.3
全年代	10.7	35.2	13.2	26.4	14.5

(女性回答者)

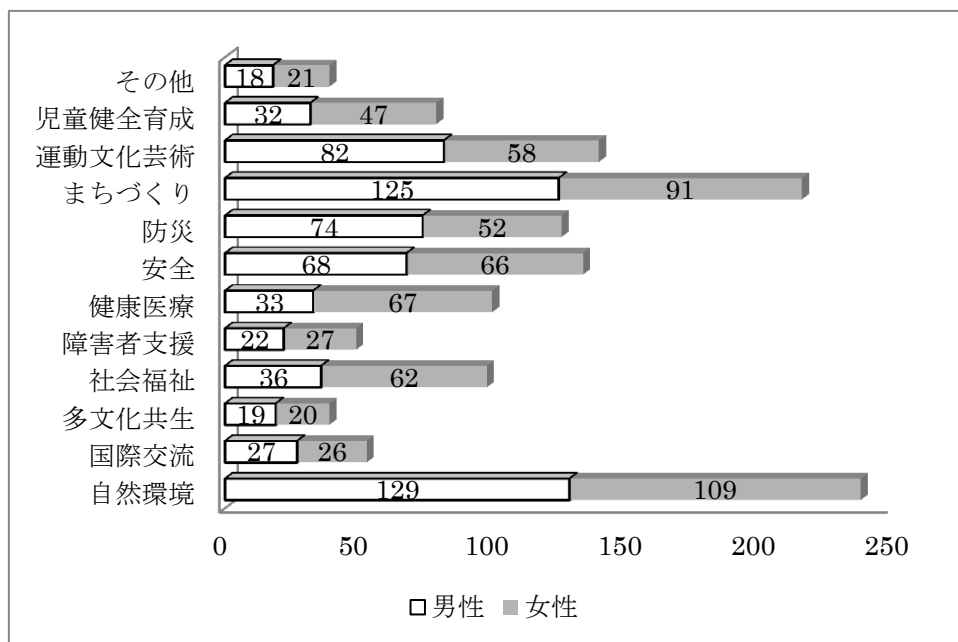


%	参加したい	内容によっては参加	頼まれれば参加	参加しない	わからない
10代	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20代	0.0	21.4	21.4	35.7	21.4
30代	12.1	51.5	15.2	9.1	12.1
40代	10.8	30.8	13.8	21.5	23.1
50代	4.0	54.7	9.3	12.0	20.0
60代	11.5	33.8	16.5	16.5	21.6
70代	8.4	34.7	9.5	28.4	18.9
80代	11.9	15.3	3.4	44.1	25.4
90代	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7
全年代	9.2	34.8	11.9	23.4	20.7

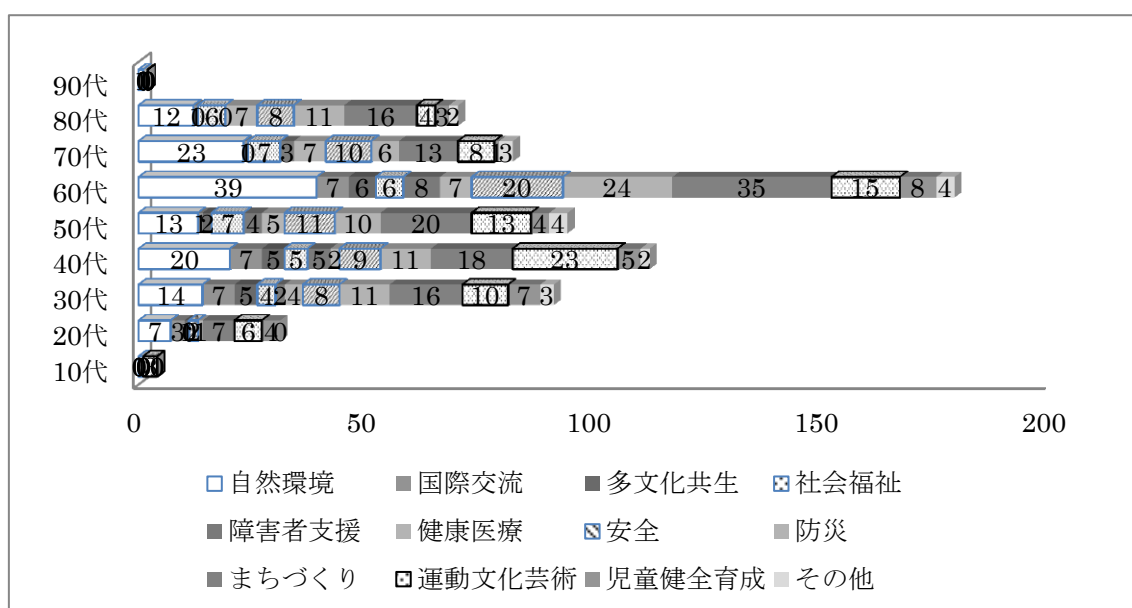
アンケートの問 24 は積極的に参加するボランティア活動の内容を尋ねている。総回答数は 1301 で男性 665、女性 646 となり、その結果を図表 2-10 で示している。ボランティア活動でもっとも参加意向が高いのは自然や環境の保全活動である。次にまちづくりのための活動で、身近な住民間の共益より公共の利益に関するボランティア活動が続く。ボランティア活動の選好では性差が見られ、女性より男性の参加意向が高いのは、前述の公共の

利益にかかわる自然や環境の保全活動やまちづくり活動、地域防災・被災者支援に関する活動、安全な生活のための活動である。一方、女性は乳幼児・児童・青少年等の健全育成を対象とした活動、健康や医療サービスに関係した活動、といった女性の家庭における役割と近い分野である社会福祉を男性より高い参加意向を示している。

図表 2-10 積極的に参加したくなるボランティア活動（実数と比率、複数回答可）

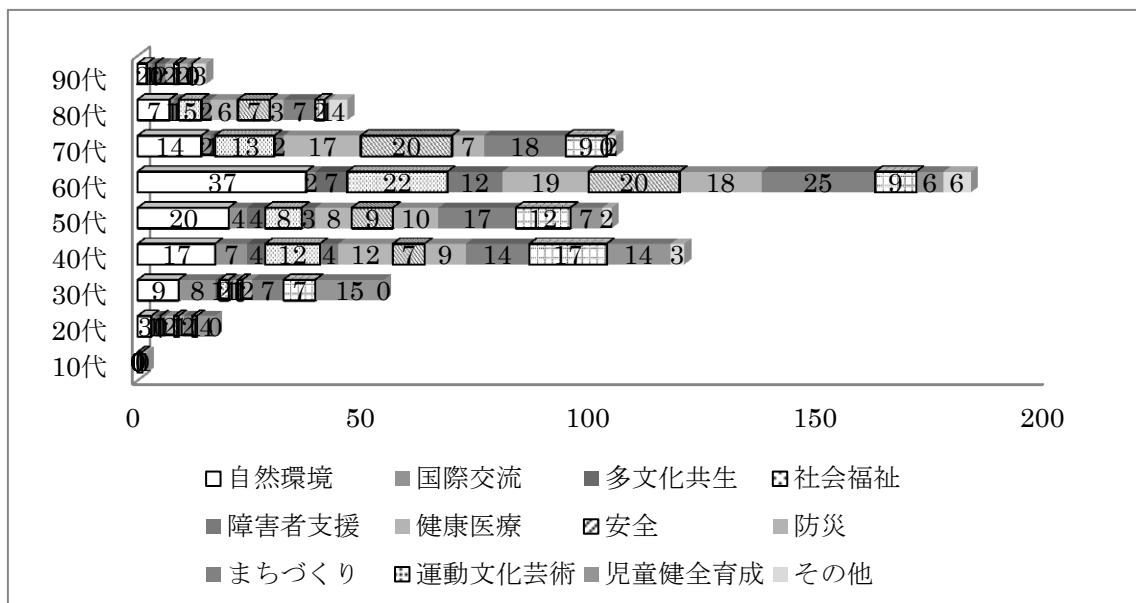


図表 2-11 男女別・年代別のボランティア活動参加意向（実数と比率、複数回答可）
（男性回答者）



%	自然環境	国際交流	多文化共生	社会福祉	障害者支援	健康医療	安全	防災	まちづくり	運動文化芸術	児童健全育成	その他
10代	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
20代	22.6	9.7	3.2	0.0	0.0	0.0	6.5	3.2	22.6	19.4	12.9	0.0
30代	15.4	7.7	5.5	4.4	2.2	4.4	8.8	12.1	17.6	11.0	7.7	3.3
40代	17.9	6.3	4.5	4.5	4.5	1.8	8.0	9.8	16.1	20.5	4.5	1.8
50代	13.8	1.1	2.1	7.4	4.3	5.3	11.7	10.6	21.3	13.8	4.3	4.3
60代	21.8	3.9	3.4	3.4	4.5	3.9	11.2	13.4	19.6	8.4	4.5	2.2
70代	28.0	1.2	0.0	8.5	3.7	8.5	12.2	7.3	15.9	9.8	1.2	3.7
80代	17.1	1.4	0.0	8.6	0.0	10.0	11.4	15.7	22.9	5.7	4.3	2.9
90代	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全年代	19.4	4.1	2.9	5.4	3.3	5.0	10.2	11.1	18.8	12.3	4.8	2.7

(女性回答者)



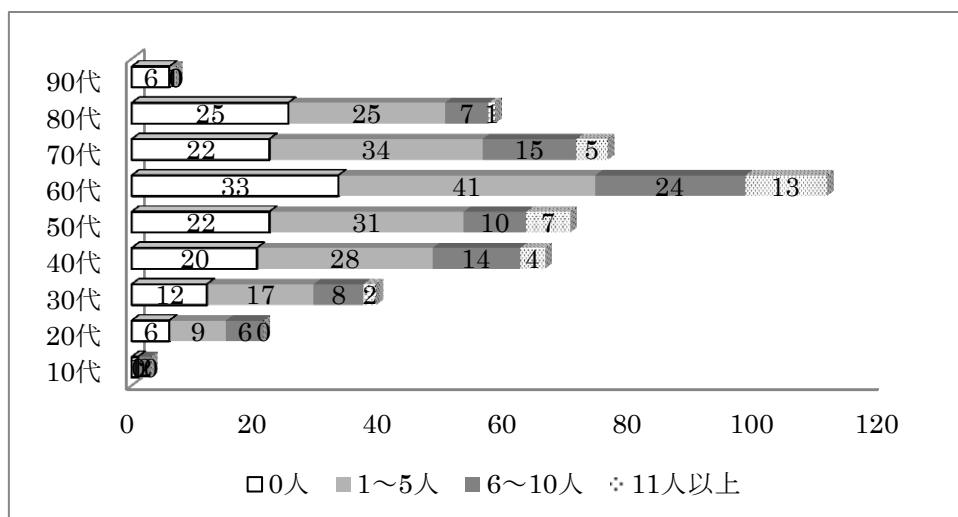
%	自然環境	国際交流	多文化共生	社会福祉	障害者支援	健康医療	安全	防災	まちづくり	運動文化芸術	児童健全育成	その他
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
20代	17.6	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9	23.5	0.0
30代	16.7	14.8	1.9	3.7	1.9	1.9	1.9	3.7	13.0	13.0	27.8	0.0
40代	14.2	5.8	3.3	10.0	3.3	10.0	5.8	7.5	11.7	14.2	11.7	2.5
50代	19.2	3.8	3.8	7.7	2.9	7.7	8.7	9.6	16.3	11.5	6.7	1.9
60代	20.2	1.1	3.8	12.0	6.6	10.4	10.9	9.8	13.7	4.9	3.3	3.3
70代	13.3	1.9	1.0	12.4	1.9	16.2	19.0	6.7	17.1	8.6	0.0	1.9
80代	15.2	2.2	2.2	10.9	4.3	13.0	15.2	6.5	15.2	4.3	2.2	8.7
90代	13.3	6.7	6.7	0.0	13.3	13.3	6.7	13.3	6.7	0.0	0.0	20.0
全年代	16.9	4.0	3.1	9.6	4.2	10.4	10.2	8.0	14.1	9.0	7.3	3.3

図表 2-11 はアンケートの問 24 をさらに性別と年代別で集計した結果を示している。年代別ではスポーツ・文化・芸術に関係した活動を若年回答者と中年回答者が選好する傾向を示している。乳幼児・児童・青少年等の健全育成を対象とした活動はさらに若い世代が選好しているが、これは乳幼児と児童の子育てをする世代の回答者が小さい子ども達の健全育成のボランティア活動をしたとより強い意向を持っていると推測できる。一方、より高年世代の回答者は、社会福祉、健康や医療サービスに関係した活動、安全な生活のための活動といった、自分がボランティアをしてもらい側に近い将来、なるかもしれないような活動への参加意向が高い傾向にある。

⑥住民間の交流

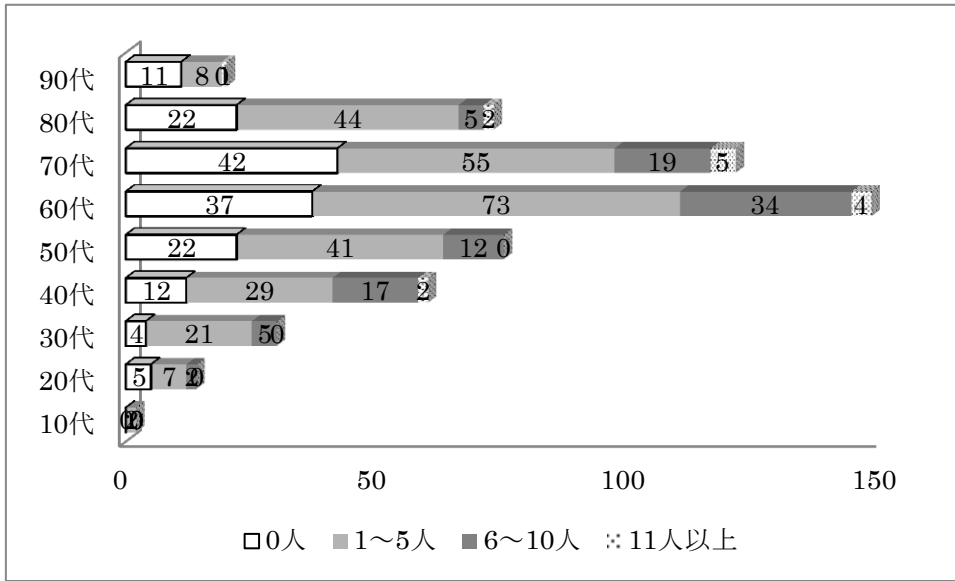
アンケートの間 25 は、日頃から付き合いのある現在の友人の有無と、友人がいる場合の数を尋ねている。有効回答数 1,076 の内、全回答者の平均の友人数は、4.1 人であるが、友人がいないという回答数は 370、34.3%の回答者は友人との交流を持たないという結果である。友人の数で 0 人、1～5 人、6 人～10 人、11 人以上と 4 グループへ集約し、男女別で集計したグラフが図表 2-12 に示している。男性回答者の方が友人のいない傾向にある。友人が 0 人という回答は 80 代と 90 代に多く、この年代は高齢により友人が亡くなってしまいうこともあって解決は難しい。しかし、友人の有無は生活の質にかかわるので、友人とまていかなくても気軽に話をできる人間関係を作る支援をした方が良いだろう。

図表 2-12 日頃から付き合いのある友人の有無と数（実数と比率）
（男性回答者）



%	0人	1～5人	6～10人	11人以上
10代	33.3	0.0	66.7	0.0
20代	28.6	42.9	28.6	0.0
30代	30.8	43.6	20.5	5.1
40代	30.3	42.4	21.2	6.1
50代	31.4	44.3	14.3	10.0
60代	29.7	36.9	21.6	11.7
70代	28.9	44.7	19.7	6.6
80代	43.1	43.1	12.1	1.7
90代	85.7	14.3	0.0	0.0
全年代	32.6	41.2	19.1	7.1

（女性回答者）



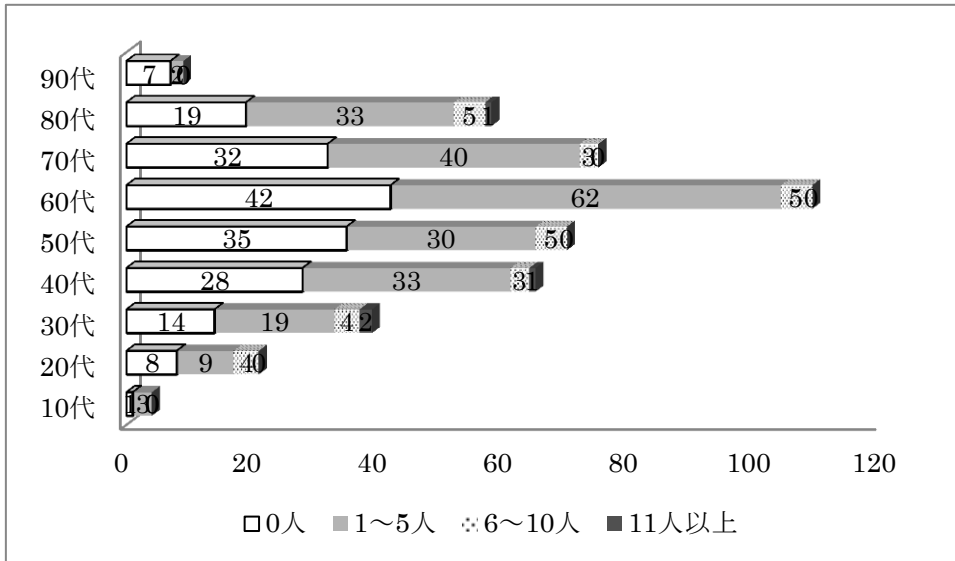
%	0人	1~5人	6~10人	11人以上
10代	0.0	100.0	0.0	0.0
20代	35.7	50.0	14.3	0.0
30代	13.3	70.0	16.7	0.0
40代	20.0	48.3	28.3	3.3
50代	29.3	54.7	16.0	0.0
60代	25.0	49.3	23.0	2.7
70代	34.7	45.5	15.7	4.1
80代	30.1	60.3	6.8	2.7
90代	55.0	40.0	0.0	5.0
全年代	28.5	51.6	17.3	2.6

アンケートの問 25-1 は、日頃から付き合いのある友人の中で、何かあった時に相談する相手がいるかどうかの有無と、その人数を尋ねた設問である。前問と比較すればより深い人間関係を有する友人を尋ねた設問ゆえに、平均人数は前問の友人の平均人数 4.1 人から約 2 人減少し、相談できる友人の平均人数は 2.0 人となる。図表 2-13 の増減率を見ると明白だが、友人を尋ねる設問の回答より、相談できる友人の回答人数はより少ない人数に対する回答が増え、より多い人数に対する回答が減っている。

図表 2-13 友人と相談できる友人の回答の比較 (実数と増減率)

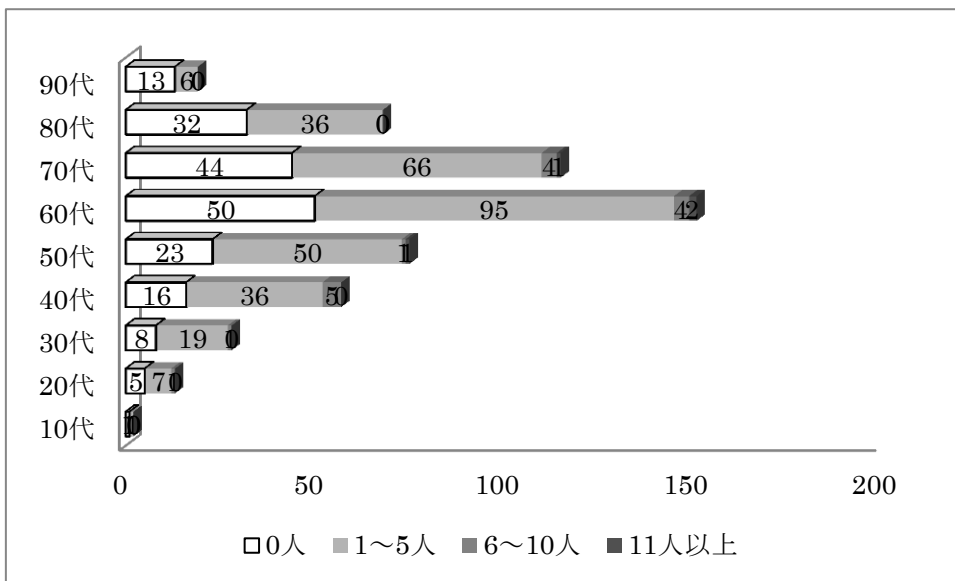
	0人	1~5人	6~10人	11人以上	合計
男性(友人数)	147	186	86	32	451
男性(相談できる人数)	186	231	29	4	450
増減率(%)	26.5	24.2	-66.3	-87.5	-0.2
女性(友人数)	155	280	94	14	543
女性(相談できる人数)	192	316	16	4	528
増減率(%)	23.9	12.9	-83.0	-71.4	-2.8

図表 2-14 友人の中で相談できる友人の有無と数（実数と比率）
（男性回答者）



%	0人	1~5人	6~10人	11人以上
10代	25.0	75.0	0.0	0.0
20代	38.1	42.9	19.0	0.0
30代	35.9	48.7	10.3	5.1
40代	43.1	50.8	4.6	1.5
50代	50.0	42.9	7.1	0.0
60代	38.5	56.9	4.6	0.0
70代	42.7	53.3	4.0	0.0
80代	32.8	56.9	8.6	1.7
90代	77.8	22.2	0.0	0.0
全年代	41.3	51.3	6.4	0.9

（女性回答者）



%	0人	1～5人	6～10人	11人以上
10代	50.0	50.0	0.0	0.0
20代	38.5	53.8	7.7	0.0
30代	28.6	67.9	3.6	0.0
40代	28.1	63.2	8.8	0.0
50代	30.7	66.7	1.3	1.3
60代	33.1	62.9	2.6	1.3
70代	38.3	57.4	3.5	0.9
80代	47.1	52.9	0.0	0.0
90代	68.4	31.6	0.0	0.0
全年代	36.4	59.8	3.0	0.8

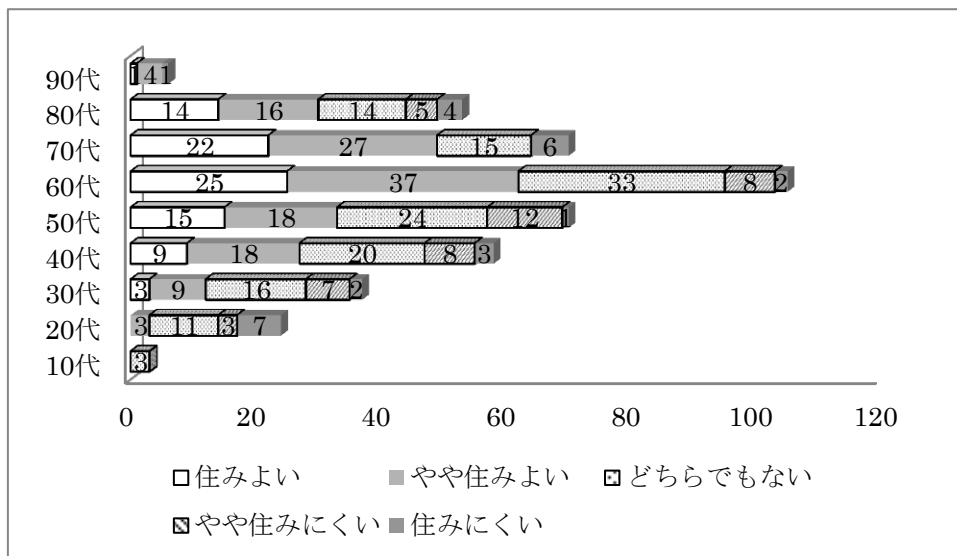
さらに性別と年代別で集計したのが図表 2-14 である。特に女性は高齢になると困った時や相談できる親密な友人が少なくなる傾向にある。高齢になればちょっとした困りごとを相談に乗ったり、解決してくれたりする人が身近にいるかどうかで生活のし易さが変わる。高齢化が進む地域社会の中で、一部の地域で町内会や NPO が行っているような共助の仕組みを作ることも検討を要するであろう。

⑦積丹町の生活

アンケートの間 26 では積丹町の住みやすさを尋ねている。図表 2-15 のように「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせて 5 割前後の回答率である。ただし、男性は若年・中年の回答者からの評価が、女性は中高年の回答者からの評価が厳しい。特に 20 代男性からの回答は「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」が 4 割を超える。

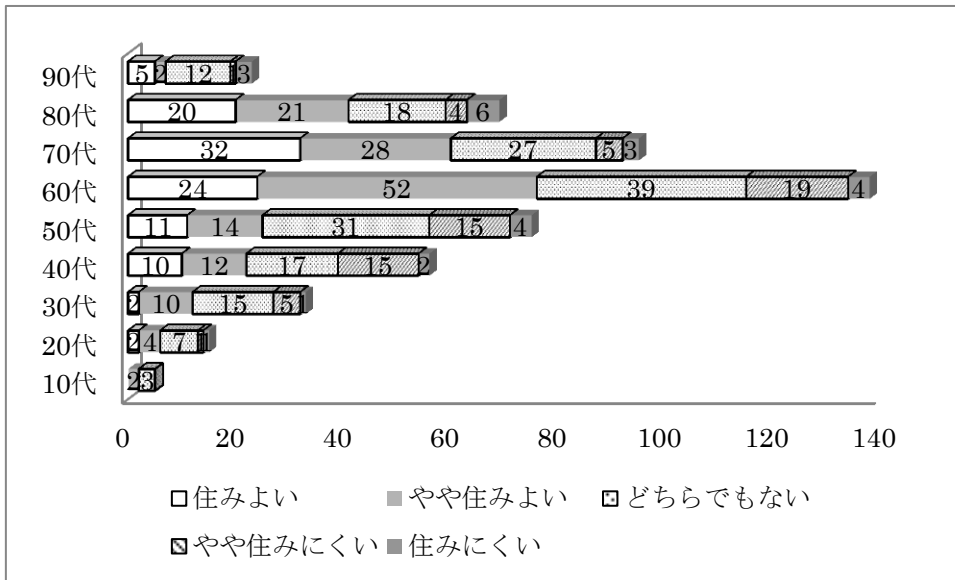
図表 2-15 積丹町の住みよさ（実数と比率）

（男性回答者）



単位は%	住みよい	やや住みよい	どちらでもない	やや住みにくい	住みにくい
10代	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20代	0.0	12.5	45.8	12.5	29.2
30代	8.1	24.3	43.2	18.9	5.4
40代	15.5	31.0	34.5	13.8	5.2
50代	21.4	25.7	34.3	17.1	1.4
60代	23.8	35.2	31.4	7.6	1.9
70代	31.4	38.6	21.4	0.0	8.6
80代	26.4	30.2	26.4	9.4	7.5
90代	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7
全年代	20.9	31.0	31.9	10.1	6.1

(女性回答者)

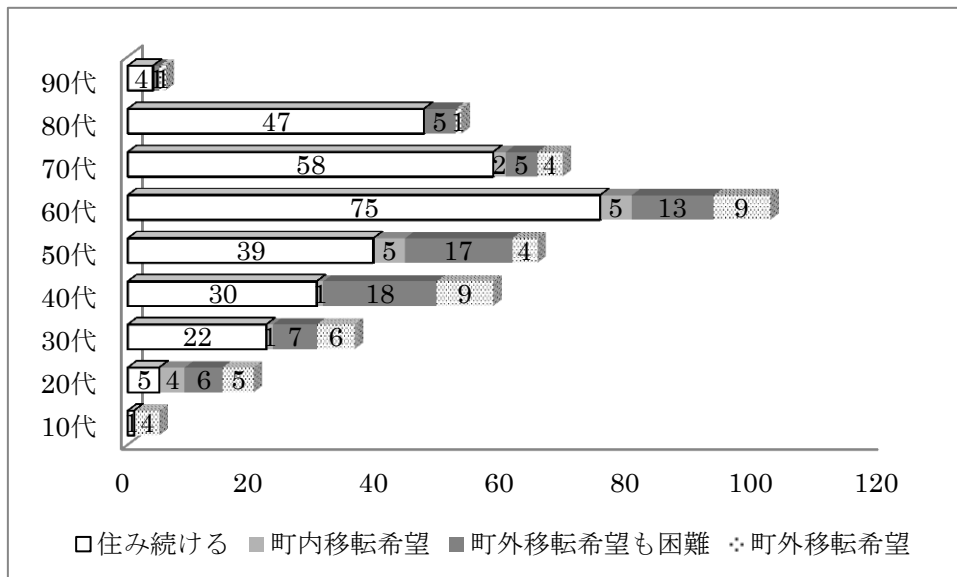


単位は%	住みよい	やや住みよい	どちらでもない	やや住みにくい	住みにくい
10代	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
20代	13.3	26.7	46.7	6.7	6.7
30代	6.1	30.3	45.5	15.2	3.0
40代	17.9	21.4	30.4	26.8	3.6
50代	14.7	18.7	41.3	20.0	5.3
60代	17.4	37.7	28.3	13.8	2.9
70代	33.7	29.5	28.4	5.3	3.2
80代	29.0	30.4	26.1	5.8	8.7
90代	21.7	8.7	52.2	4.3	13.0
全年代	20.8	28.5	33.2	12.8	4.7

アンケートの問 27 では積丹町に住み続けたいかどうかの意向を尋ねている。図表 2-16 で示されているように前問の住みやすさの結果から考えると住み続ける回答が多い。

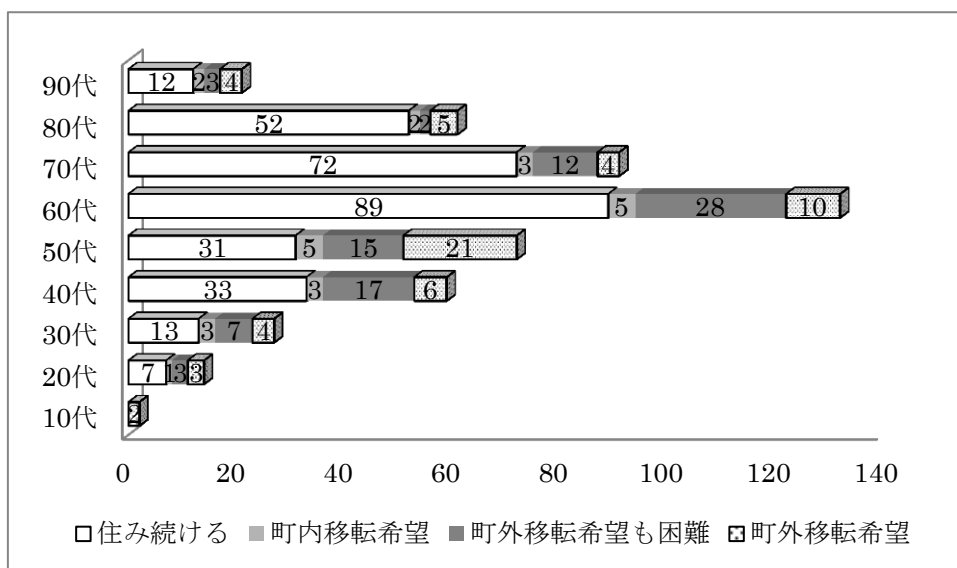
図表 2-16 積丹町に住み続ける意向（実数と比率）

（男性回答者）



単位は%	住み続ける	町内移転希望	町外転出希望も困難	町外転出希望
10代	20.0	0.0	0.0	80.0
20代	25.0	20.0	30.0	25.0
30代	61.1	2.8	19.4	16.7
40代	51.7	1.7	31.0	15.5
50代	60.0	7.7	26.2	6.2
60代	73.5	4.9	12.7	8.8
70代	84.1	2.9	7.2	5.8
80代	88.7	0.0	9.4	1.9
90代	66.7	0.0	16.7	16.7
全年代	67.9	4.3	17.4	10.4

（女性回答者）



単位は%	住み続ける	町内移転希望	町外転出希望も困難	町外転出希望
10代	0.0	0.0	0.0	100.0
20代	50.0	7.1	21.4	21.4
30代	48.1	11.1	25.9	14.8
40代	55.9	5.1	28.8	10.2
50代	43.1	6.9	20.8	29.2
60代	67.4	3.8	21.2	7.6
70代	79.1	3.3	13.2	4.4
80代	85.2	3.3	3.3	8.2
90代	57.1	9.5	14.3	19.0
全年代	64.5	5.0	18.2	12.3

若い世代ほど積丹町外へ転出したいという希望が強い。一方、年代が上になるに従って住み続けるという回答が多くなる。積丹町での生活環境に多少不満があっても、「住めば都」という慣用句のように積丹町の良さを感じるようになり、住み続けたいという気持ちになった回答者もいるのだろう。また、自由記述を参考にすると、仕事や生家の関係から町外へ転出するのは困難で、消極的に住み続けるという回答者も少なからずいるようである。転出したい意向の回答には、医療や買い物の環境を問題視している自由記述が散見される。

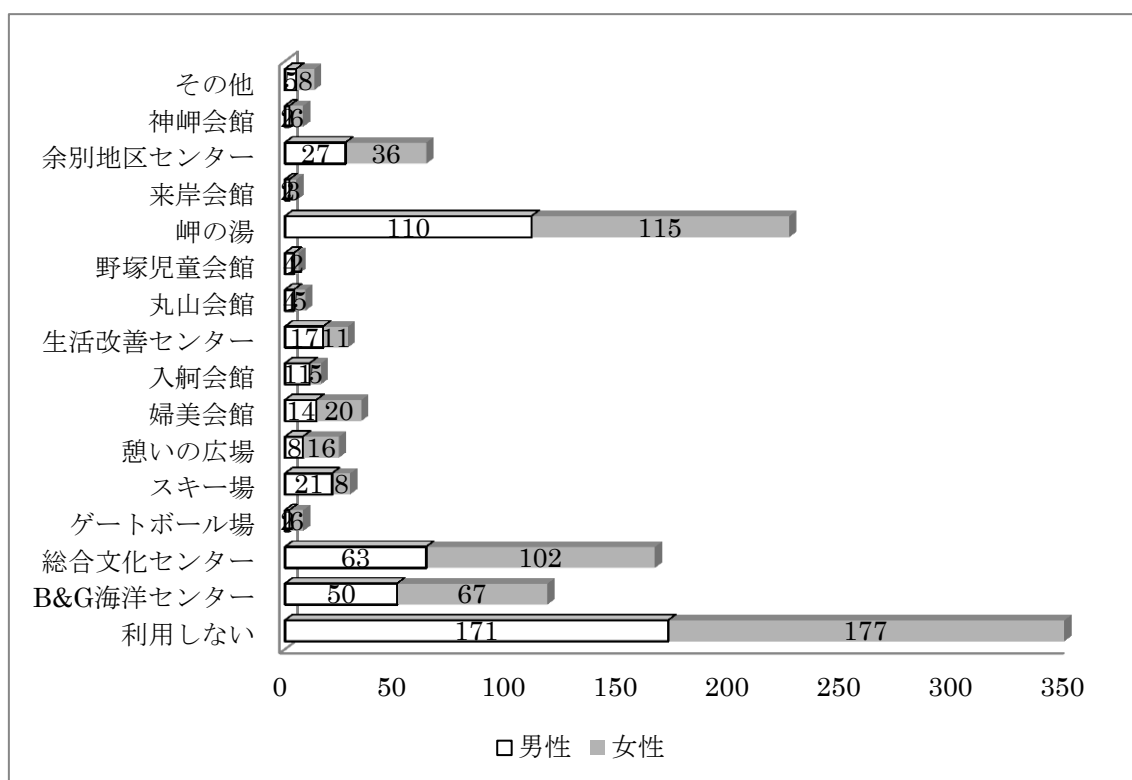
3 B&G 海洋センターの利用調査

①町内の施設利用状況

アンケートの問 17 は最近、1 年間で主に利用した積丹町内の 15 施設を選択肢として（その他で自由記述可能）、その中から最大 3 施設まで回答できる設問である。各施設の利用状況と性別で整理した結果は図表 3-1 で示している。また各施設を選択した回答者の居住地区と年代別で分けて集計した結果が図表 3-2 と図表 3-3 である。

図表 3-1 で示されているように、回答者の約 3 割がここ 1 年での利用がない、としている。もっとも利用の回答が多かったのは、町内全域から全年代の利用者を集める公設民営の温浴施設の「岬の湯しゃこたん」である。積丹町内で大規模な温浴施設で、積丹町民にとって温浴や食事を楽しみ、交流する場として愛されているのであろう。同様に町内の広域から幅広い世代の多くの住民を集めているのが積丹町の中心街に立地する積丹町役場に隣接された「積丹町総合文化センター」が 2 番目に利用回答を得た施設である。文化教育や積丹町民の交流の場のような複合的機能を有していることが理由と思われる。3 番目に利用回答を得たのが「B&G 海洋センター」であるが、総合文化センターと比較すると回答者の居住地区は狭くなっている。それ以外の施設に関してコミュニティセンターのように設置目的から生じる地域限定性や、ゲートボール場のようにある限定された目的を有する住民しか利用しないことから生じる機能限定性から、利用回答は少なくなる。

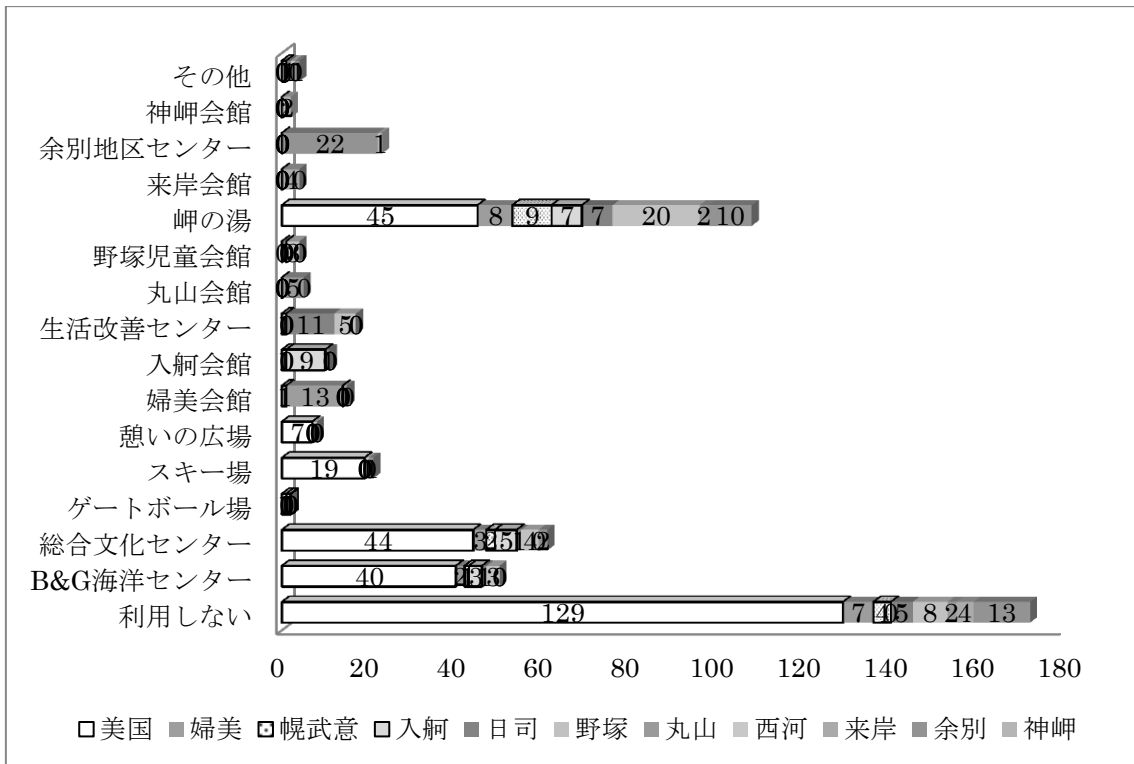
図表 3-1 男女別の施設利用状況と占有率（実数と比率）



単位は実数と%	男性回答数	比率	女性回答数	比率	回答数合計	比率
利用しない	171	33.5	177	30.2	348	31.7
B&G海洋センター	50	9.8	67	11.4	117	10.7
総合文化センター	63	12.3	102	17.4	165	15.0
ゲートボール場	2	0.4	6	1.0	8	0.7
スキー場	21	4.1	8	1.4	29	2.6
憩いの広場	8	1.6	16	2.7	24	2.2
婦美会館	14	2.7	20	3.4	34	3.1
入舸会館	11	2.2	5	0.9	16	1.5
生活改善センター	17	3.3	11	1.9	28	2.6
丸山会館	4	0.8	5	0.9	9	0.8
野塚児童会館	4	0.8	2	0.3	6	0.5
岬の湯	110	21.5	115	19.6	225	20.5
来岸会館	2	0.4	3	0.5	5	0.5
余別地区センター	27	5.3	36	6.1	63	5.7
神岬会館	2	0.4	6	1.0	8	0.7
その他	5	1.0	8	1.4	13	1.2
合計	511	100.0	587	100.0	1098	100.0

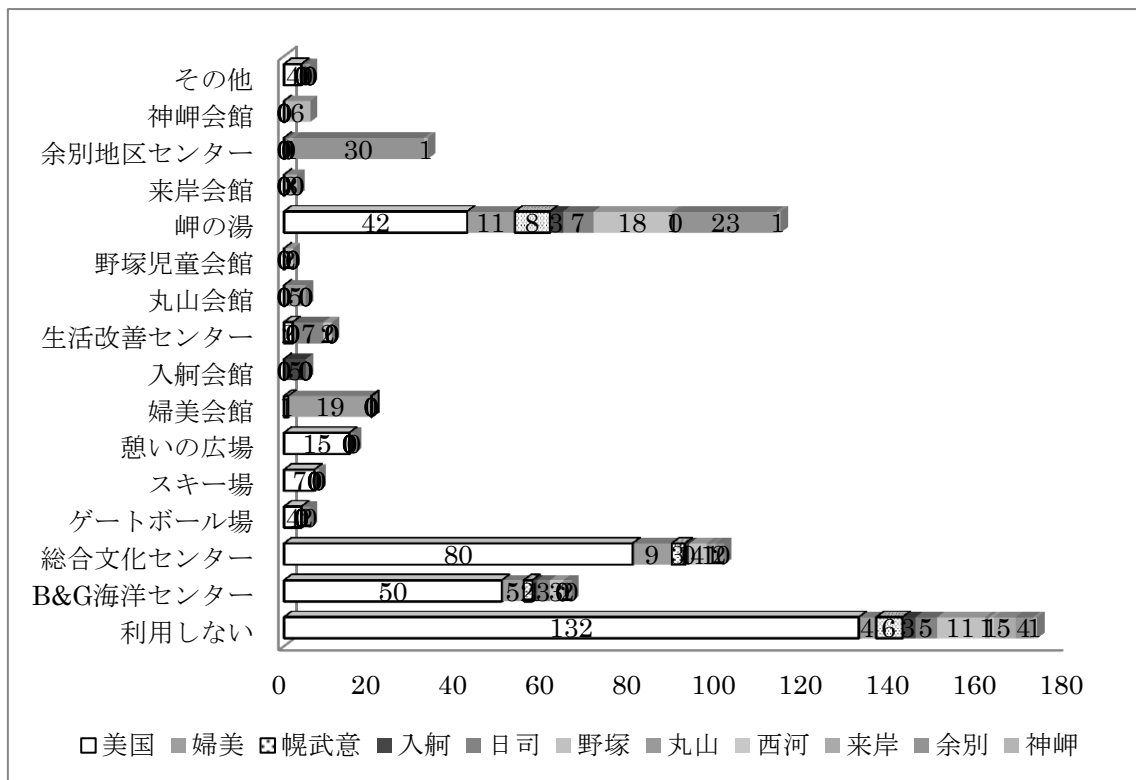
図表 3-2 では回答者の居住地区と利用状況を整理し、示したものである。地区会館等はその設置目的から地区の回答者が極めて高い比率になる。美国地区の回答者が施設を利用しないと回答している割合が他地区と比べ、相対的に高い。

図表 3-2 回答者の居住地区と施設の利用状況（実数と比率）
（男性回答者）



%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬
利用しない	75.0	4.1	2.3		2.9	4.7	1.2		2.3	7.6	
B&G海洋センター	80.0	4.0	2.0	6.0	2.0	6.0					
総合文化センター	72.1	4.9	3.3	8.2	1.6	6.6				3.3	
ゲートボール場	50.0			50.0							
スキー場	90.5					4.8				4.8	
憩いの広場	87.5					12.5					
婦美会館	6.7	86.7					6.7				
入舸会館	9.1			81.8	9.1						
生活改善センター	5.9				64.7	29.4					
丸山会館							100.0				
野塚児童会館		25.0				75.0					
岬の湯	41.7	7.4	8.3	6.5	6.5	18.5	1.9			9.3	
来岸会館									100.0		
余別地区センター										95.7	4.3
神岬会館											100.0
その他				25.0	25.0	25.0				25.0	
合計	56.8	6.7	3.2	5.1	5.3	9.1	2.0		1.6	9.7	0.6

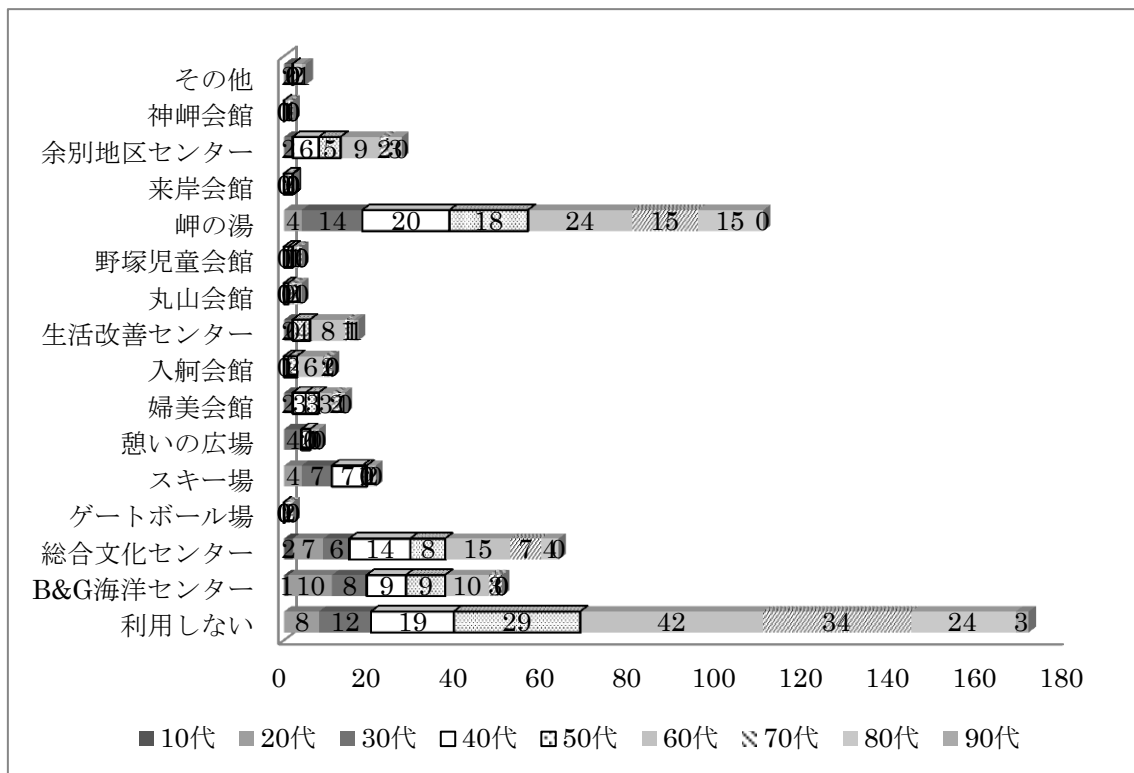
(女性回答者)



%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬
利用しない	76.3	2.3	3.5	1.7	2.9	6.4	0.6	0.6	2.9	2.3	0.6
B&G海洋センター	75.8	7.6	3.0	1.5	4.5	4.5				3.0	
総合文化センター	79.2	8.9	3.0	1.0		4.0	1.0		1.0	2.0	
ゲートボール場	66.7									33.3	
スキー場	87.5								12.5		
憩いの広場	93.8									6.3	
婦美会館	5.0	95.0									
入舸会館				100.0							
生活改善センター	18.2				63.6	18.2					
丸山会館							100.0				
野塚児童会館						100.0					
岬の湯	36.8	9.6	7.0	2.6	6.1	15.8	0.9			20.2	0.9
来岸会館									100.0		
余別地区センター					3.0				3.0	90.9	3.0
神岬会館											100.0
その他	66.7				16.7		16.7				
合計	58.6	8.3	3.3	2.3	4.2	7.0	1.6	0.2	1.9	11.1	1.6

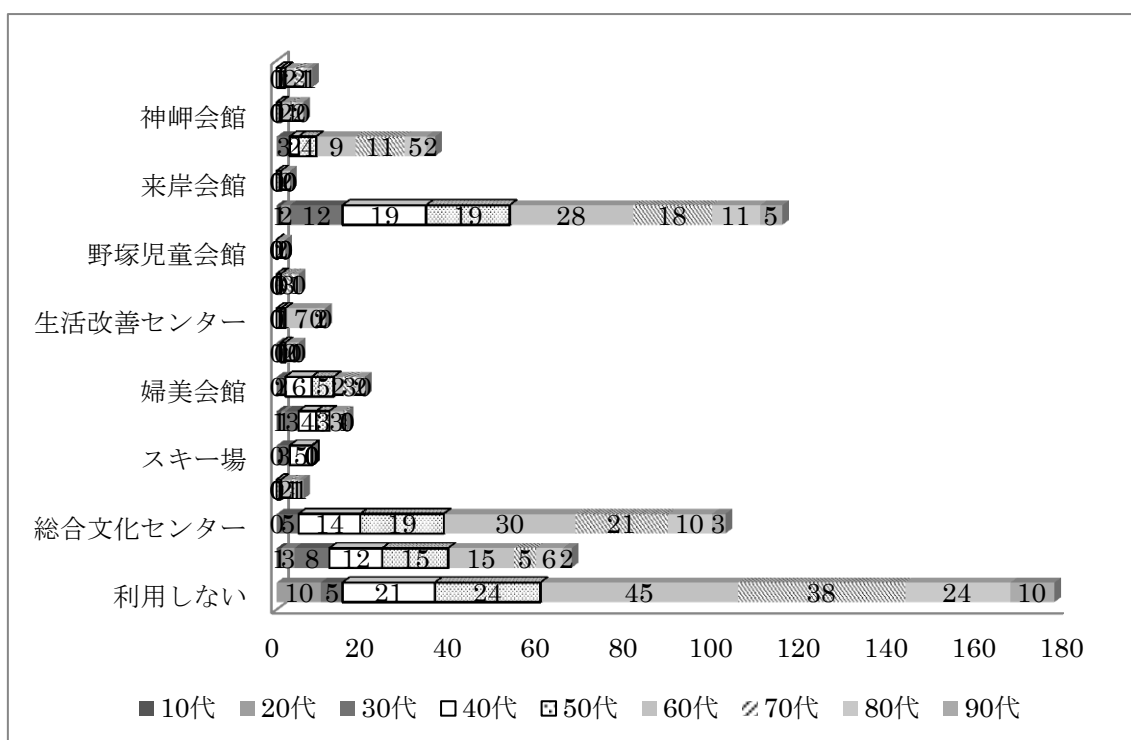
図表 3-3 は回答者の年代と施設の利用状況を整理し、示したものであるが、B&G 海洋センターは比較的幅広い世代に使用されている。そうしたことから、長期に渡る安定した運営のための施設管理が必要である。

図表 3-3 回答者の年代と施設の利用状況（実数と比率）
（男性回答者）



%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	占有率
利用しない		4.7	7.0	11.1	17.0	24.6	19.9	14.0	1.8	33.5
B&G海洋センター	2.0	20.0	16.0	18.0	18.0	20.0	6.0			9.8
総合文化センター	3.2	11.1	9.5	22.2	12.7	23.8	11.1	6.3		12.3
ゲートボール場							100.0			0.4
スキー場		19.0	33.3	33.3	4.8			9.5		4.1
憩いの広場			50.0	25.0		12.5		12.5		1.6
婦美会館			14.3	21.4	21.4	21.4	14.3	7.1		2.7
入舂会館				9.1	18.2	54.5	18.2			2.2
生活改善センター			11.8		23.5	47.1	5.9	5.9	5.9	3.3
丸山会館					25.0		50.0	25.0		0.8
野塚児童会館				25.0	25.0	25.0	25.0			0.8
岬の湯		3.6	12.7	18.2	16.4	21.8	13.6	13.6		21.5
来岸会館					100.0					0.4
余別地区センター			7.4	22.2	18.5	33.3	7.4	11.1		5.3
神岬会館						50.0	50.0			0.4
その他			40.0					40.0	20.0	1.0
合計	0.6	6.5	11.5	16.0	16.2	23.5	14.1	10.6	1.0	100.0

(女性回答者)

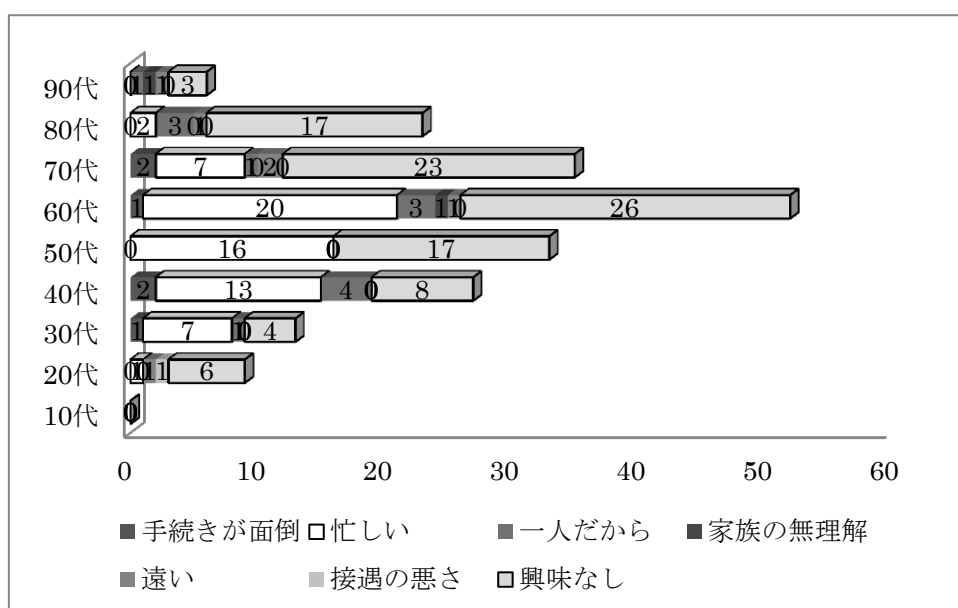


%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	占有率
利用しない		5.6	2.8	11.9	13.6	25.4	21.5	13.6	5.6	30.2
B&G海洋センター	1.5	4.5	11.9	17.9	22.4	22.4	7.5	9.0	3.0	11.4
総合文化センター			4.9	13.7	18.6	29.4	20.6	9.8	2.9	17.4
ゲートボール場					16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	1.0
スキー場			37.5	62.5						1.4
憩いの広場	6.3	6.3	18.8	25.0	18.8	18.8	6.3			2.7
婦美会館			10.0	30.0	25.0	10.0	15.0	10.0		3.4
入舸会館			20.0		20.0	40.0		20.0		0.9
生活改善センター				9.1	9.1	63.6		18.2		1.9
丸山会館					20.0		60.0	20.0		0.9
野塚児童会館						100.0				0.3
岬の湯	0.9	1.7	10.4	16.5	16.5	24.3	15.7	9.6	4.3	19.6
来岸会館					33.3	66.7				0.5
余別地区センター			8.3	5.6	11.1	25.0	30.6	13.9	5.6	6.1
神岬会館					16.7	33.3	16.7	33.3		1.0
その他				12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	1.4
合計	0.5	2.7	7.2	14.5	16.4	25.7	17.7	11.2	4.1	100.0

アンケートの問 17-1 は前問で積丹町内の施設を使用しなかった回答者へ、利用しなかった理由を尋ねている。施設の機能か、施設で行われる行事等に関心がないのかは不明だが、もっとも多かった回答は、興味が無いという理由である。また、働き盛りの世代を中心に、忙しくて行く暇が無いという理由の回答が二番目に多い。女性回答者を中心に一緒に行く人がいない、中高年女性では遠い、という理由に挙げる回答者が一定数いる。

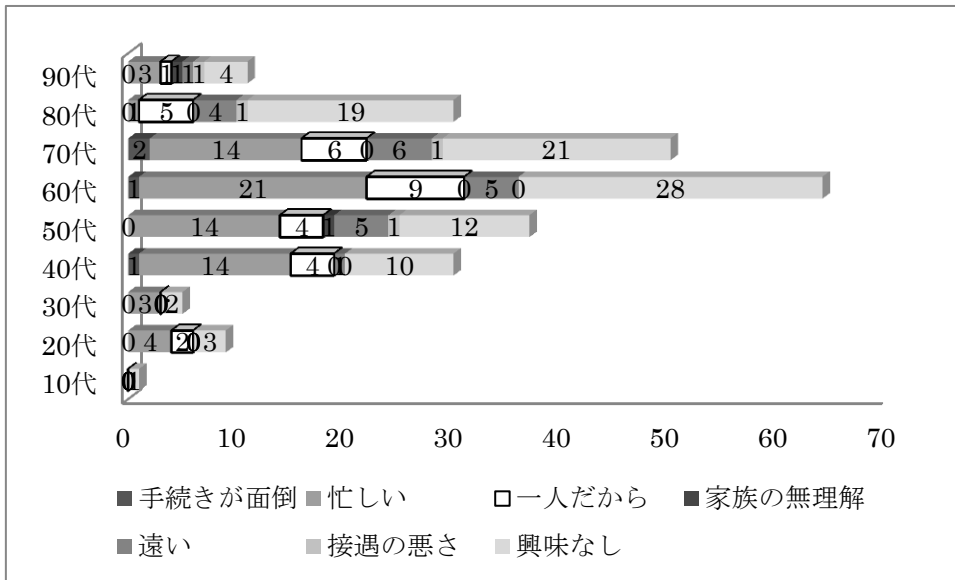
図表 3-4 施設を利用しない理由（実数と比率）

（男性回答者）



%	手続きが面倒	忙しい	一人だから	家族の無理解	遠い	接遇の悪さ	興味なし
10代							
20代		11.1			11.1	11.1	66.7
30代	7.7	53.8	7.7				30.8
40代	7.4	48.1	14.8				29.6
50代		48.5					51.5
60代	1.9	38.5	5.8	1.9	1.9		50.0
70代	5.7	20.0	2.9		5.7		65.7
80代		8.7	13.0		4.3		73.9
90代			16.7	16.7	16.7		50.0
全年代	3.0	33.3	6.6	1.0	3.0	0.5	52.5

(女性回答者)

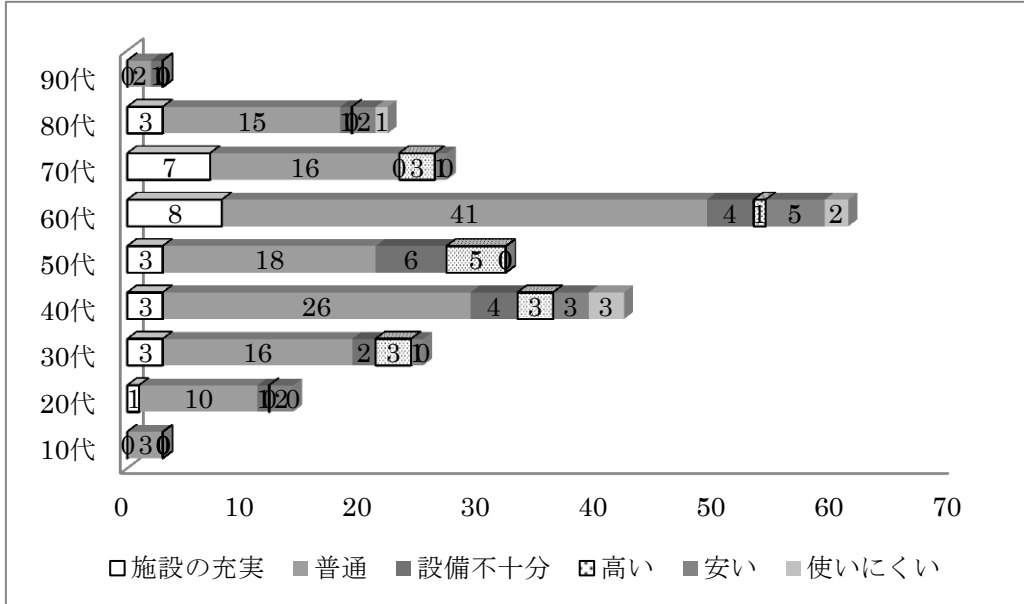


%	手続きが面倒	忙しい	一人だから	家族の無理解	遠い	接遇の悪さ	興味なし
10代							100.0
20代		44.4	22.2				33.3
30代		60.0					40.0
40代	3.3	46.7	13.3		3.3		33.3
50代		37.8	10.8	2.7	13.5	2.7	32.4
60代	1.6	32.8	14.1		7.8		43.8
70代	4.0	28.0	12.0		12.0	2.0	42.0
80代		3.3	16.7		13.3	3.3	63.3
90代		27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4
全年代	1.7	31.2	13.1	0.8	9.3	1.7	42.2

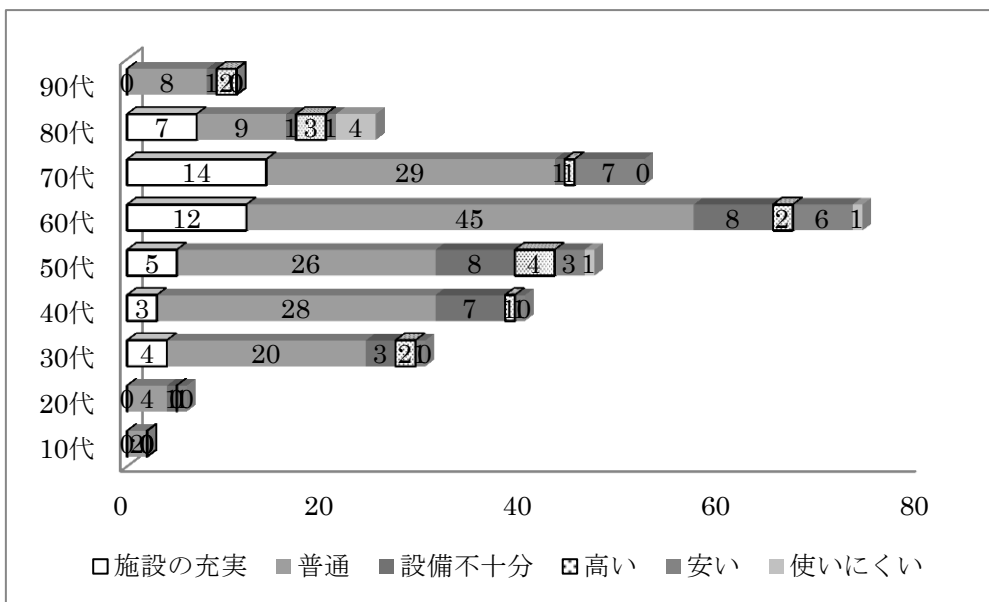
アンケートの問 17-2 は利用した施設への感想を尋ね、複数回答を認めている。施設の感想は普通の回答が多く、料金の感想は高い、安いとバラバラである。これは利用した施設固有の事情と利用者の置かれている経済状況の多様性が原因ではないか。

図表 3-5 施設を利用した感想（実数）

（男性回答者）



（女性回答者）

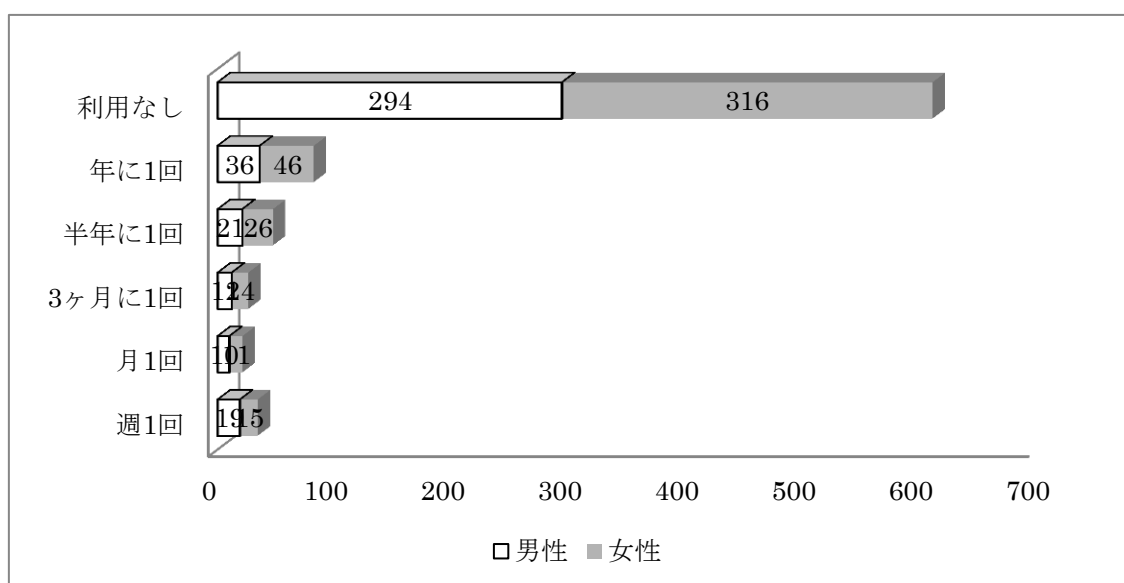


②B&G 海洋センターの利用

アンケートの問 18 は B&G 海洋センターの利用状況を尋ねているが、男女共に回答者の 3/4 が B&G 海洋センターを利用しない（したことがない）と回答している。図表 3-6 では回答者全般の利用状況を、図表 3-7 では男女別と居住地区別、さらに図表 3-8 では男女別と年代別とより細かく集計し、示している。週 1 回の利用という最も頻繁に利用して

いる男性回答者は 19 名、女性回答者は 16 名である。月 1 回の利用と回答している男性回答者は 10 名、女性回答者は 11 名とより少ない。週 1 回の利用や月 1 回の利用の回答者は定期的な利用と考えられ、こうした定期的な利用者を増やすことが B&G 海洋センターにとって存在価値を向上させるだろう。

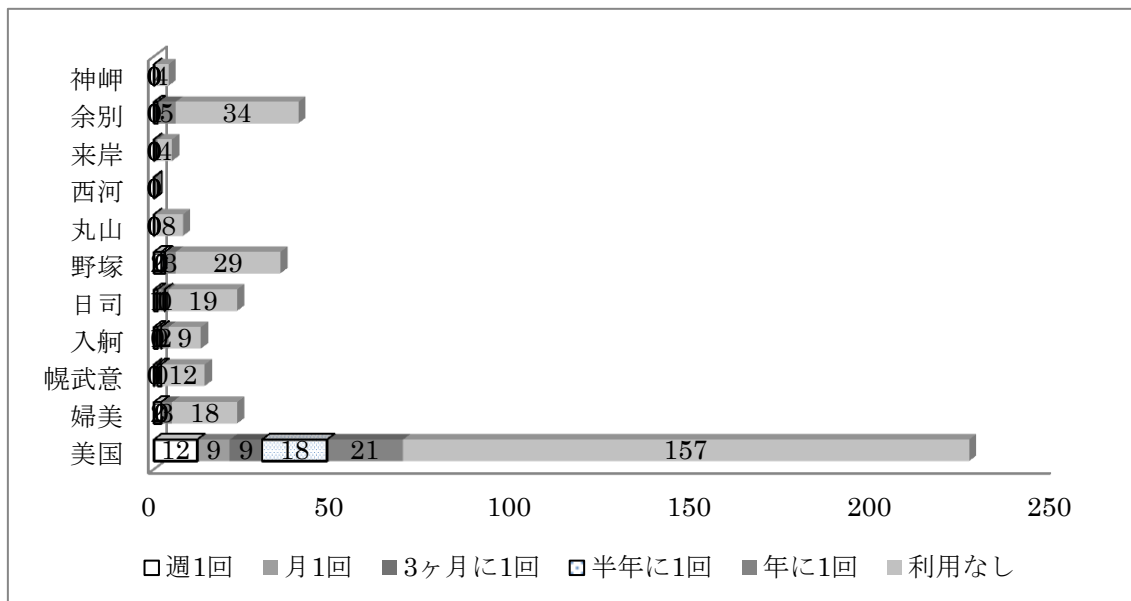
図表 3-6 B&G 海洋センターの利用状況（実数と比率）
（全回答者）



単位は実数と%	男性	比率	女性	比率	合計	比率
週1回	19	4.8	15	3.5	34	4.1
月1回	10	2.6	11	2.6	21	2.6
3ヶ月に1回	12	3.1	14	3.3	26	3.2
半年に1回	21	5.4	26	6.1	47	5.7
年に1回	36	9.2	46	10.7	82	10.0
利用なし	294	75.0	316	73.8	610	74.4
合計	392	100.0	428	100.0	820	100.0

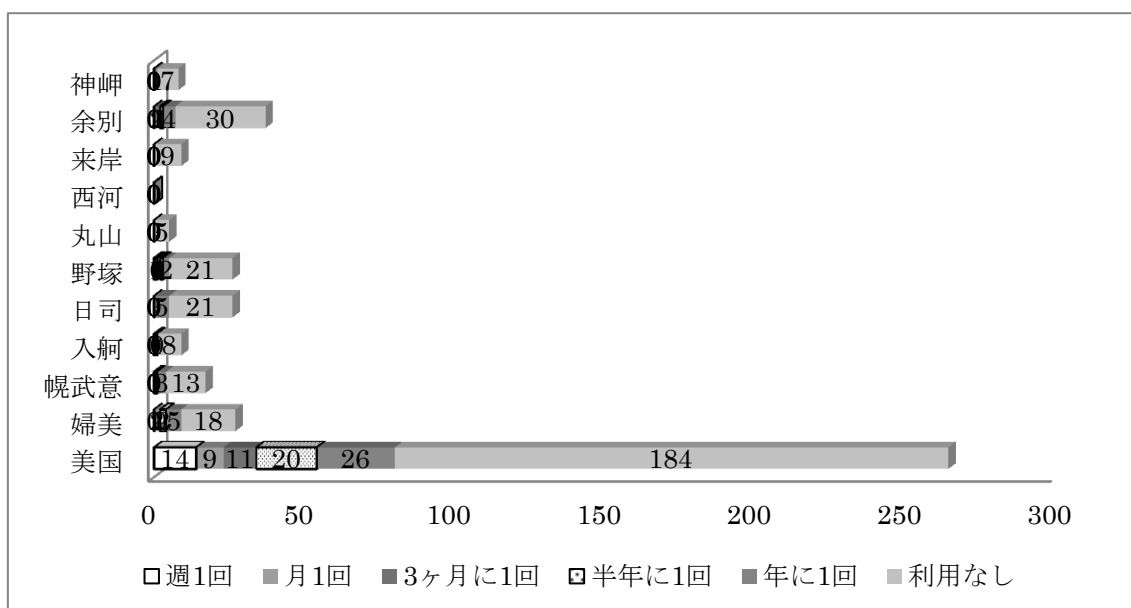
図表 3-7 では利用状況を回答者の性別と居住地区で分け、集計している。B&G 海洋センターは積丹町内において住民が気軽に利用できるスポーツ施設ではあるが、週 1 回、月 1 回と比較的高い頻度で利用する回答者の多くが施設の立地する美国地区に居住している。ただし、男性回答者において美国地区以外から週 1 回、施設を利用する回答者が 7 名おり、7 名をさらに年代別で見ると 20 代から 50 代までの若年中年が 5 名、60 代と 70 代の高年が 2 名となっている。週 1 回の利用と回答した女性回答者は全て美国地区居住者である。施設までの距離と交通手段の有無、定期的な施設利用への誘因の強さが施設の利用状況に影響を与えると見られる。詳細な分析は問 18-2 で行う。

図表 3-7 B&G 海洋センターの男女別・居住地区別利用状況（実数と比率）
（男性回答者）



%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬
週1回	66.7	11.1		5.6	5.6	11.1					
月1回	90.0				10.0						
3ヶ月に1回	75.0		8.3	8.3	8.3						
半年に1回	85.7		4.8			4.8				4.8	
年に1回	58.3	8.3		5.6	2.8	8.3			2.8	13.9	
利用なし	53.4	6.1	4.1	3.1	6.5	9.9	2.7		1.4	11.6	1.4

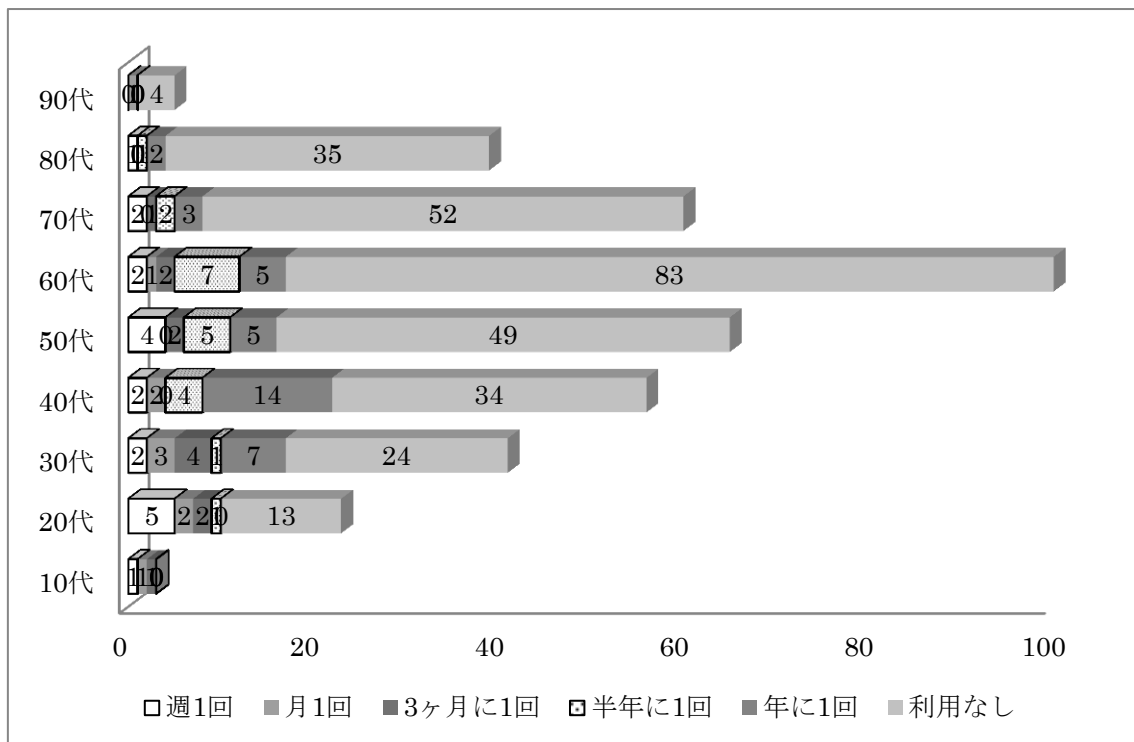
（女性回答者）



%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余别	神岬
週1回	93.3					6.7					
月1回	81.8	18.2									
3ヶ月に1回	78.6					7.1				14.3	
半年に1回	76.9	7.7	3.8	3.8		3.8				3.8	
年に1回	56.5	10.9	6.5		10.9	4.3				8.7	2.2
利用なし	58.2	5.7	4.1	2.5	6.6	6.6	1.6		2.8	9.5	2.2

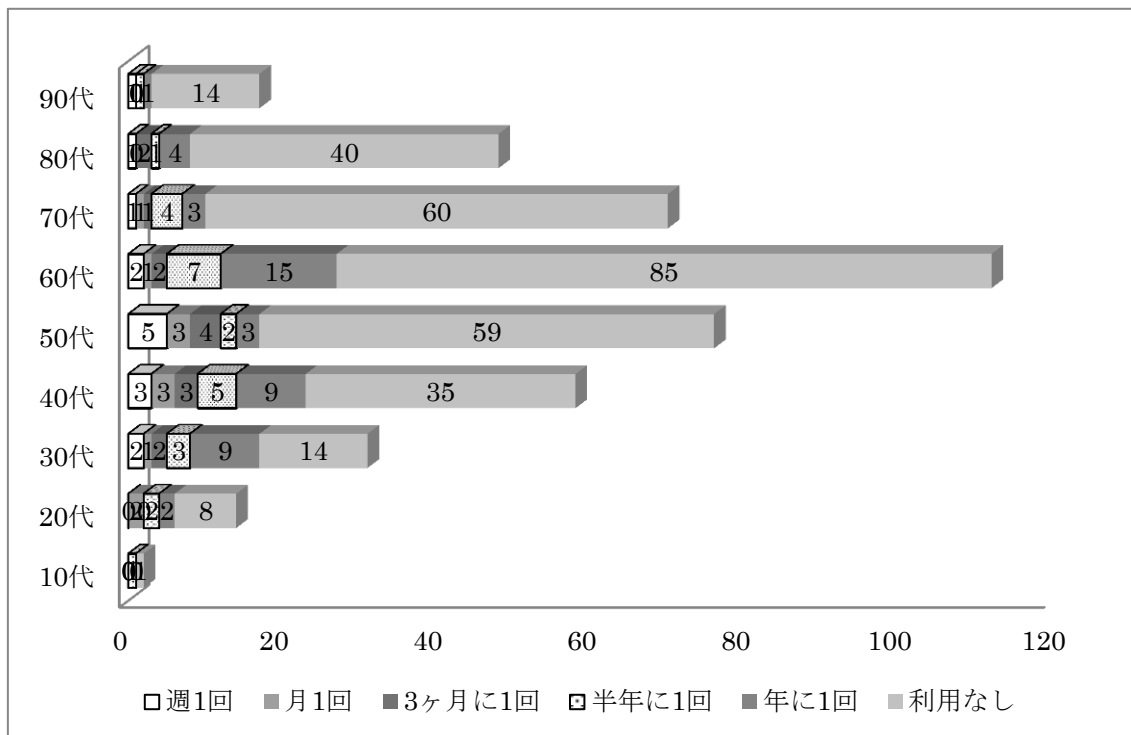
図表 3-8 では男女別と年代別で整理した利用状況を示している。年代別回答者数が異なるものの、週 1 回の利用と月 1 回の利用という比較的頻繁に利用する回答者に関して、女性回答者より男性回答者の方がより若い世代の利用を示している。男性回答者に関して特に週 1 回利用する 20 代回答者に関して全年代に占める割合は高いことに注目したい。

図表 3-8 B&G 海洋センターの男女別・年代別利用状況（実数と比率）
（男性回答者）



%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
週1回	5.3	26.3	10.5	10.5	21.1	10.5	10.5	5.3	
月1回	10.0	20.0	30.0	20.0		10.0			10.0
3ヶ月に1回	8.3	16.7	33.3		16.7	16.7	8.3		
半年に1回		4.8	4.8	19.0	23.8	33.3	9.5	4.8	
年に1回			19.4	38.9	13.9	13.9	8.3	5.6	
利用なし		4.4	8.2	11.6	16.7	28.2	17.7	11.9	1.4

(女性回答者)

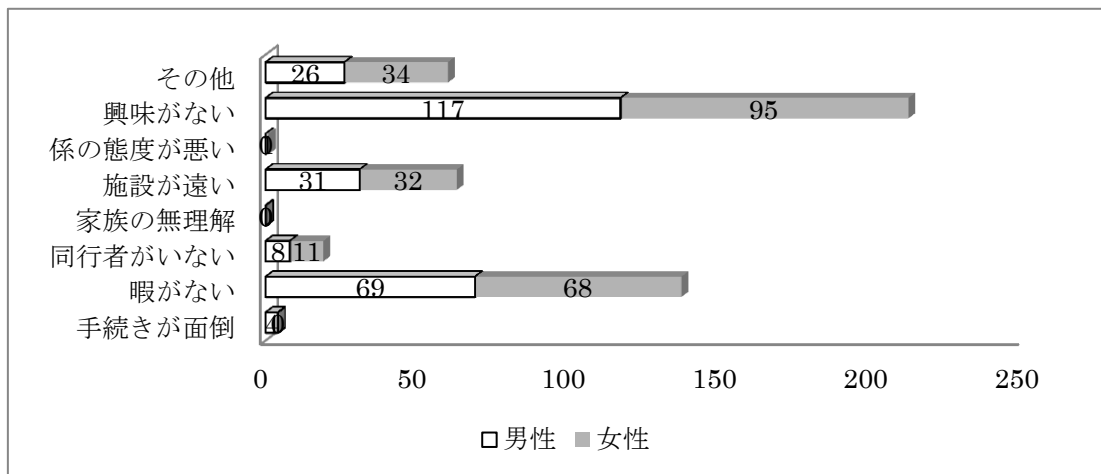


%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
週1回			13.3	20.0	33.3	13.3	6.7	6.7	6.7
月1回		18.2	9.1	27.3	27.3	9.1	9.1		
3ヶ月に1回			14.3	21.4	28.6	14.3	7.1	14.3	
半年に1回	3.8	7.7	11.5	19.2	7.7	26.9	15.4	3.8	3.8
年に1回		4.3	19.6	19.6	6.5	32.6	6.5	8.7	2.2
利用なし	0.3	2.5	4.4	11.1	18.7	26.9	19.0	12.7	4.4

③B&G 海洋センターを利用しない理由

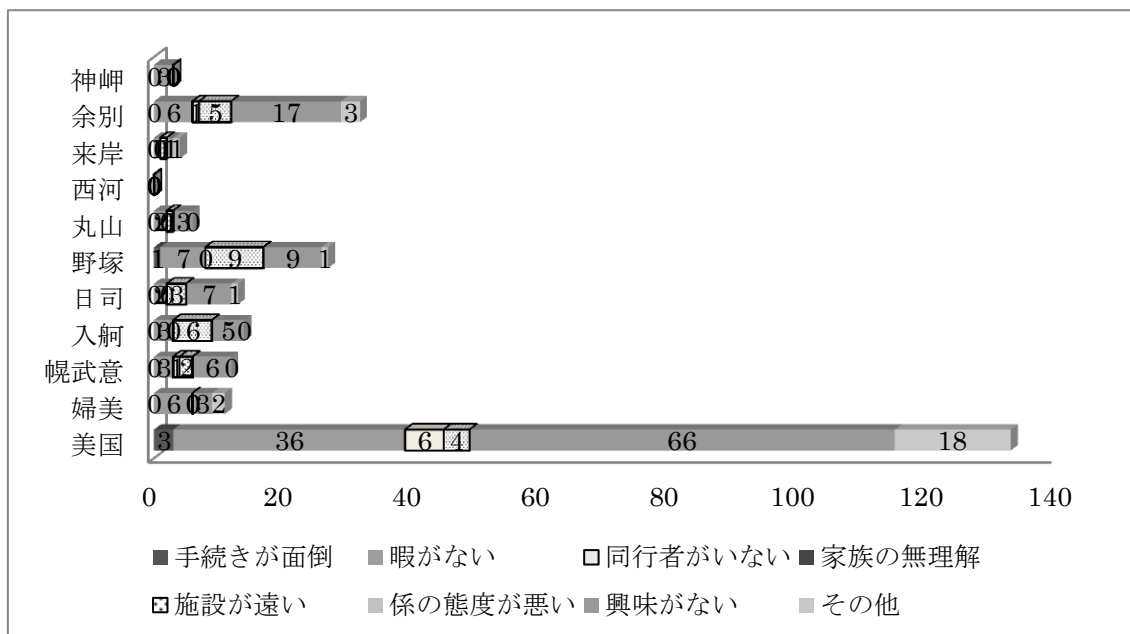
アンケートの問 18-1 は、前問で B&G 海洋センターを利用しない（したことがない）と回答した回答者に対して、施設を利用しない理由を 1 つ選択させる設問である。図表 3-9 では各理由の実数、男女比率、理由の中での比率を詳細に示している。図表 3-9 の実数を示したグラフを見ての通り、運動やスポーツを楽しむことができるという B&G 海洋センターが提供する基本機能や、同施設で行うイベントへ興味を持っていないと思われる回答者がもっとも多い。次に多い理由が忙しくて施設へ行く暇がないという回答である。B&G 海洋センターへの興味がないとの回答では、男性回答者の方が女性回答者より多い。図表 3-10 では B&G 海洋センターを利用しない理由を男女別と居住区別で整理した。施設が遠いことを理由にした回答者の居住地区は、予想通り B&G 海洋センターから離れた地区に居住する回答者が多かった。

図表 3-9 男女別 B&G 海洋センターを利用しない理由（実数と比率）



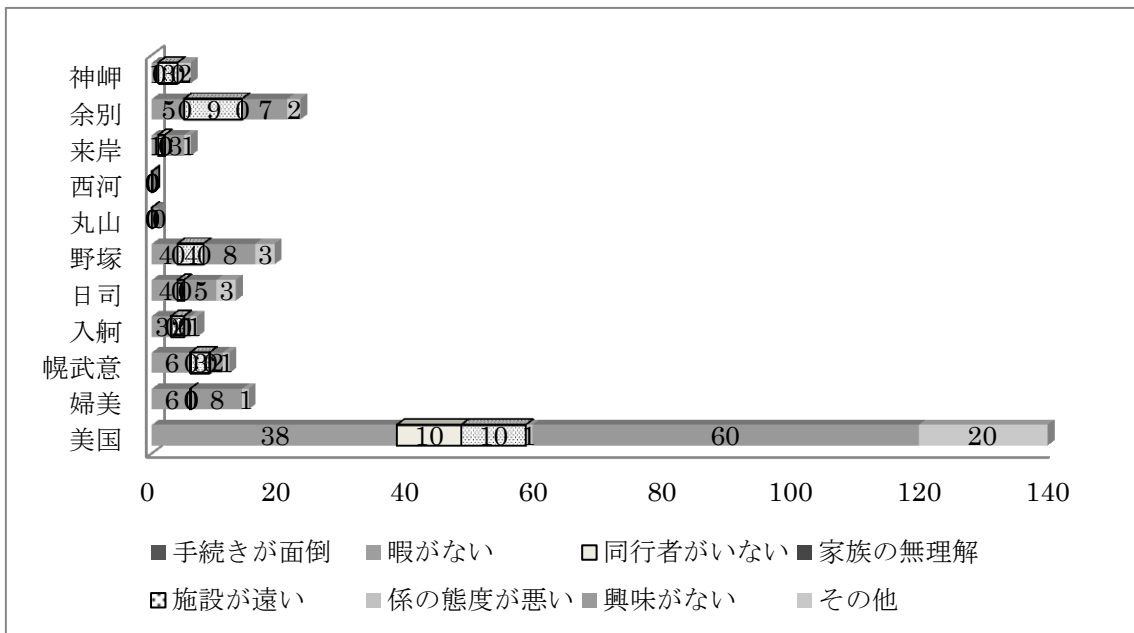
単位は実数と%	男性	比率	女性	比率	合計	割合
手続きが面倒	4	100.0	0		4	0.8
暇がない	69	50.4	68	49.6	137	27.6
同行者がいない	8	42.1	11	57.9	19	3.8
家族の無理解						
施設が遠い	31	49.2	32	50.8	63	12.7
係の態度が悪い	0		1	100.0	1	0.2
興味がない	117	55.2	95	44.8	212	42.7
その他	26	43.3	34	56.7	60	12.1
全区域	255	51.4	241	48.6	496	100.0

図表 3-10 男女別・居住区別 B&G 海洋センターを利用しない理由（実数と比率）
（男性回答者）



単位は%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬	全区域
手続きが面倒	2.3					3.7						1.6
暇がない	27.1	54.5	25.0	21.4	15.4	25.9	33.3		25.0	18.8	100.0	27.1
同行者がいない	4.5		8.3							3.1		3.1
家族の無理解												
施設が遠い	3.0		16.7	42.9	23.1	33.3	16.7		25.0	15.6		12.2
係の態度が悪い												
興味がない	49.6	27.3	50.0	35.7	53.8	33.3	50.0		25.0	53.1		45.9
その他	13.5	18.2			7.7	3.7			25.0	9.4		10.2

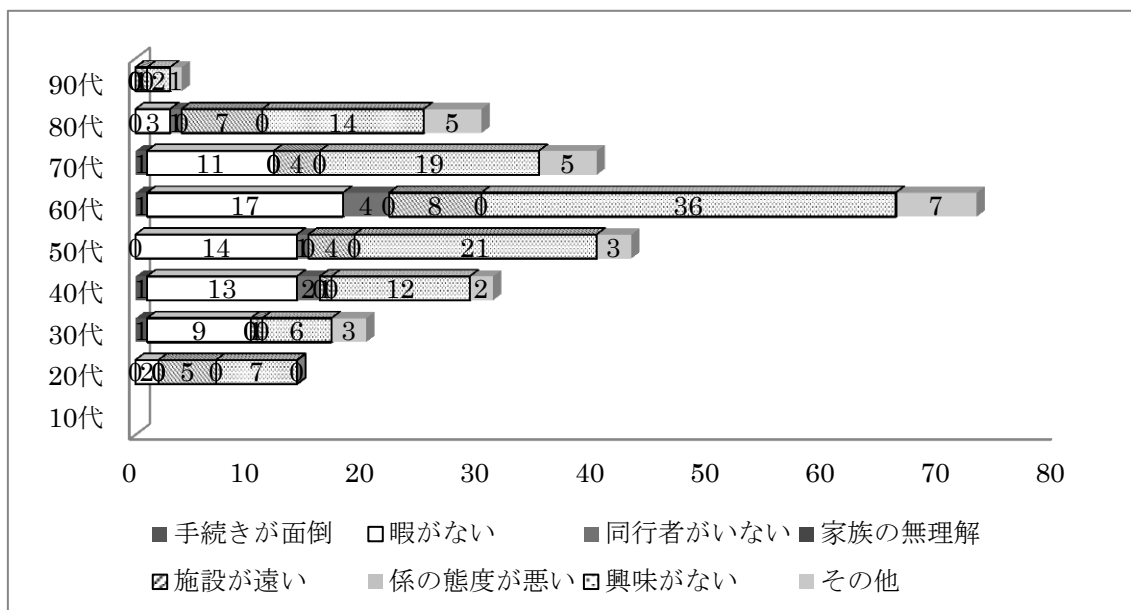
(女性回答者)



単位は%	美国	婦美	幌武意	入舸	日司	野塚	丸山	西河	来岸	余別	神岬	全区域
手続きが面倒												
暇がない	27.3	40.0	50.0	42.9	30.8	21.1			16.7	21.7	16.7	28.2
同行者がいない	7.2								16.7			4.6
家族の無理解												
施設が遠い	7.2		25.0	28.6	7.7	21.1				39.1	50.0	13.3
係の態度が悪い	0.7											0.4
興味がない	43.2	53.3	16.7	14.3	38.5	42.1	100.0		50.0	30.4		39.4
その他	14.4	6.7	8.3	14.3	23.1	15.8			16.7	8.7	33.3	14.1

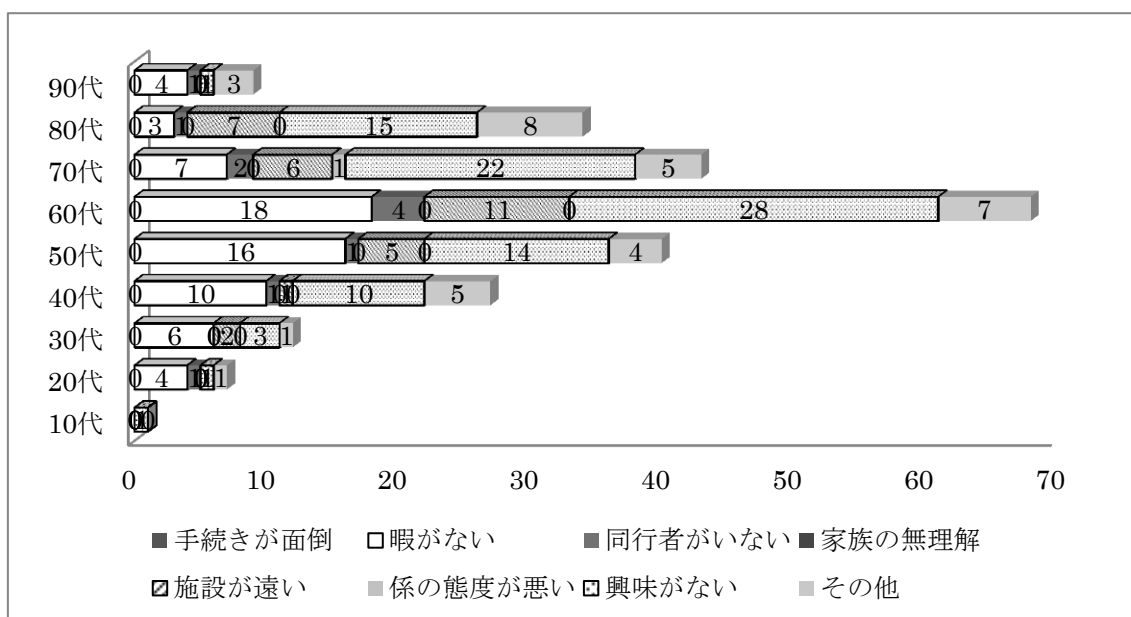
図表 3-11 では B&G 海洋センターを利用しない理由を男女別と年代別で整理した。暇がないと回答したのは男女ともに 30 代から 50 代といった働き盛りの世代で、女性の場合、子育てが原因なのか、20 代でも暇がないという回答が多い。B&G 海洋センターに興味がないという回答の比率が低く、忙しいという回答や遠いという回答の比率が相対的に高い世代は、それらの課題を解決する支援をすれば、同施設の利用者を増やせる可能性がある。

図表 3-11 男女別・年代別 B&G 海洋センターを利用しない理由（実数と比率）
（男性回答者）



単位は%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	全世代
手続きが面倒			5.0	3.2		1.4	2.5			1.6
暇がない		14.3	45.0	41.9	32.6	23.3	27.5	10.0		27.1
同行者がいない				6.5	2.3	5.5		3.3		3.1
家族の無理解										
施設が遠い		35.7	5.0	3.2	9.3	11.0	10.0	23.3	25.0	12.2
係の態度が悪い										
興味がない		50.0	30.0	38.7	48.8	49.3	47.5	46.7	50.0	45.9
その他			15.0	6.5	7.0	9.6	12.5	16.7	25.0	10.2

（女性回答者）

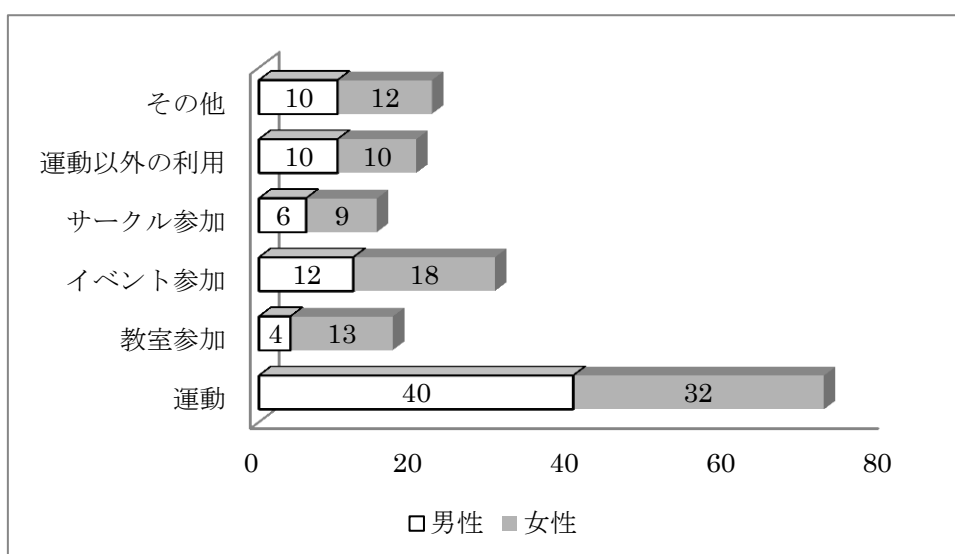


単位は%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	全世代
手続きが面倒										
暇がない		57.1	50.0	37.0	40.0	26.5	16.3	8.8	44.4	28.2
同行者がいない		14.3		3.7	2.5	5.9	4.7	2.9	11.1	4.6
家族の無理解										
施設が遠い			16.7	3.7	12.5	16.2	14.0	20.6		13.3
係の態度が悪い							2.3			0.4
興味がない	100.0	14.3	25.0	37.0	35.0	41.2	51.2	44.1	11.1	39.4
その他		14.3	8.3	18.5	10.0	10.3	11.6	23.5	33.3	14.1

④B&G 海洋センターを利用する目的

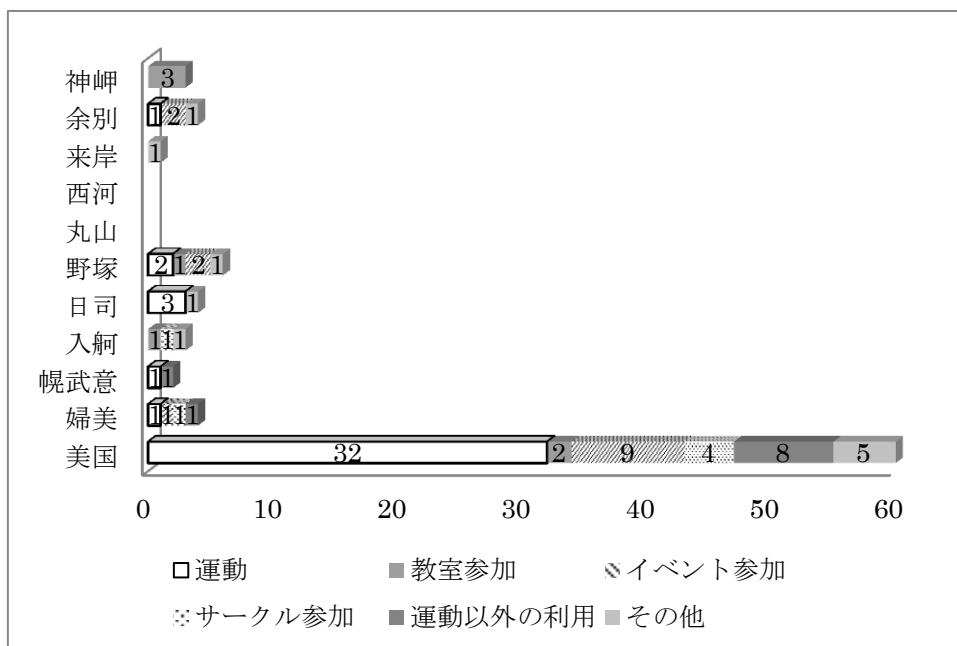
アンケートの問 18-2 は、問 18 で B&G 海洋センターを利用した回答者に対して、施設を利用した目的を 1 つ選択させる設問である。図表 3-12 は男女別の利用目的を整理したもので、運動を目的に利用している回答者が最も多く、回答の 4 割を占める。運動を目的に同施設を利用する回答者の男女比率は、男性回答者の割合が高い。一方、次に回答が多かったのがイベントへの参加であるが、女性の回答者が男性より多いという要因を考慮しても、女性回答者は男性回答者と比較して他者との交流が伴うイベントへの参加、教室への参加、サークル活動への参加が相対的に多いと言える。自由記述を読むと、回答者自身がイベントに参加するのではなく、子どもの活動やイベントへ付き添ってくる親がいるようだ。この結果から、B&G 海洋センターに対して運動を目的とする利用者が多いものの、他者との交流や子どもの付き添いといった運動以外のニーズが女性を中心にありどうなので、女性の利用者や女性の利用頻度を高める方策として、他者との大人向けの交流イベントやサークル活動、子供向けのイベントやサークル活動といった親子をターゲットとする事業実施が考えられる。

図表 3-12 男女別の B&G 海洋センターを利用した理由（実数と比率）



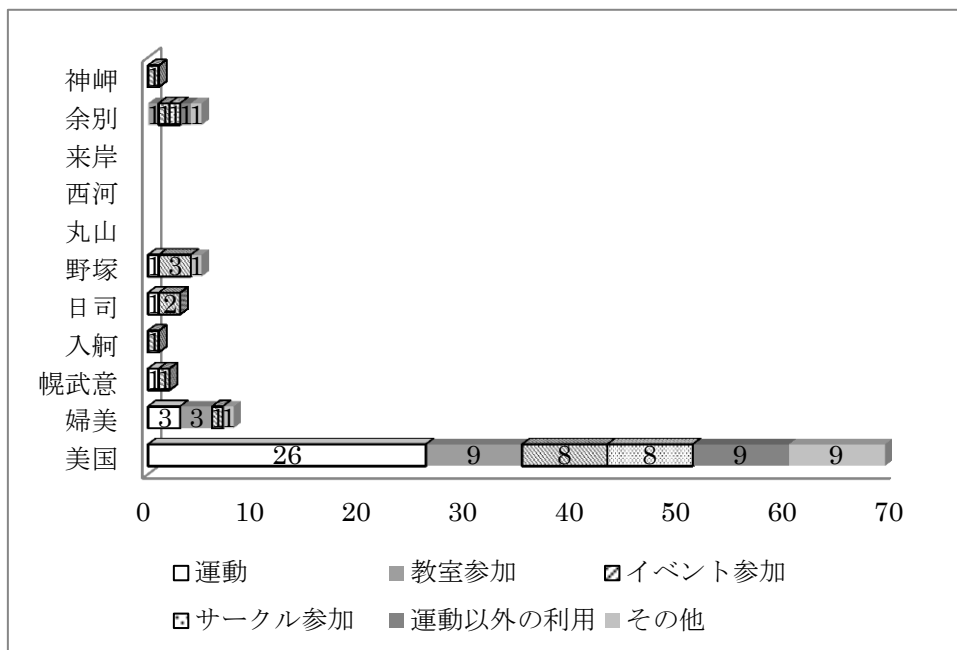
単位は実数と%	男性	比率	女性	比率	合計	比率
運動	40	48.8	32	34.0	72	40.9
教室参加	4	4.9	13	13.8	17	9.7
イベント参加	12	14.6	18	19.1	30	17.0
サークル参加	6	7.3	9	9.6	15	8.5
運動以外の利用	10	12.2	10	10.6	20	11.4
その他	10	12.2	12	12.8	22	12.5
合計	82	100.0	94	100.0	176	100.0

図表 3-13 男女別・居住区別の B&G 海洋センターを利用した理由（実数と比率）
（男性回答者）



単位は%	運動	教室参加	イベント参加	サークル参加	運動以外の利用	その他
美国	53.3	3.3	15.0	6.7	13.3	8.3
婦美	25.0		25.0	25.0	25.0	
幌武意	50.0				50.0	
入舸		33.3		33.3		33.3
日司	75.0					25.0
野塚	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7
丸山						
西河						
来岸						100.0
余別	25.0		50.0			25.0
神岬		100.0				
全地区	46.0	8.0	16.1	6.9	11.5	11.5

(女性回答者)

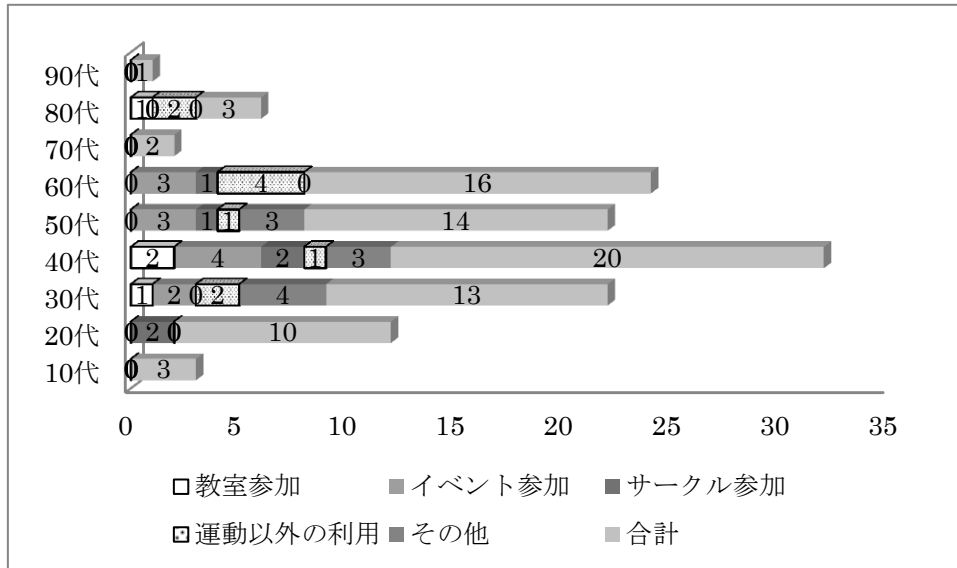


単位は%	運動	教室参加	イベント参加	サークル参加	運動以外の利用	その他
美国	37.7	13.0	11.6	11.6	13.0	13.0
婦美	37.5	37.5	12.5			12.5
幌武意	50.0		50.0			
入舸			100.0			
日司	33.3		66.7			
野塚	20.0		60.0			20.0
丸山						
西河						
来岸						
余別		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
神岬			100.0			
全地区	34.0	13.8	19.1	9.6	10.6	12.8

図表 3-13 と図表 3-14 は、図表 3-12 で示した、男女別の B&G 海洋センターの利用理由をさらに居住地区別と年代別で整理し、集計したものである。図表 3-13 に関して運動を目的にした B&G 海洋センター利用の回答者よりイベントへの参加、サークル活動への参加、教室への参加の回答者が相対的に多い地区もある。魅力あるイベントや教室を B&G 海洋センターで行う、サークル活動を誘致し、支援することで同施設の利用者を増やすことにつながるかもしれない。

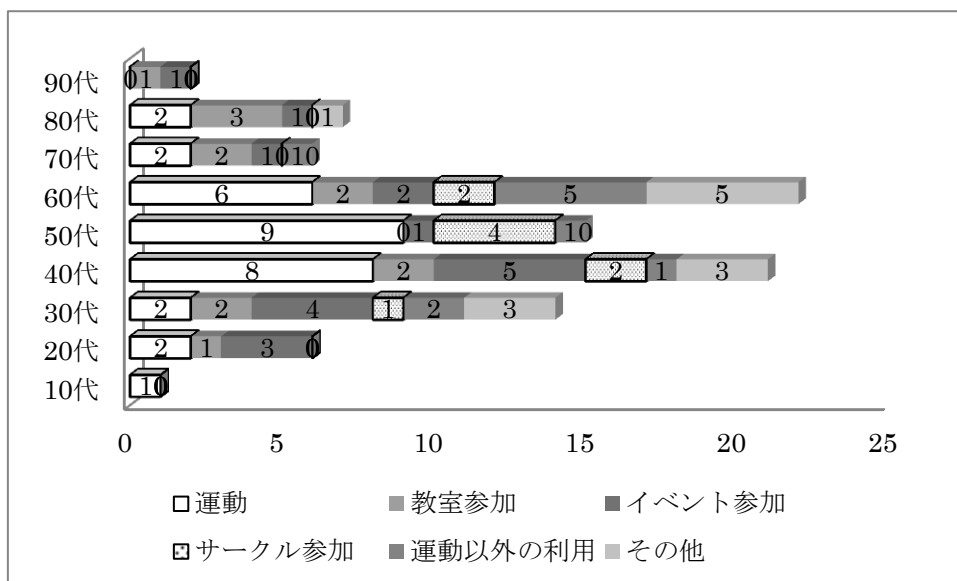
図表 3-14 は男女別に加え、B&G 海洋センターの利用理由をさらに年代別で整理したものである。女性に関してイベントへの参加や教室への参加の回答が幅広い世代に見られる。女性向けのイベントや教室が幅広い世代を惹きつけられる内容になっていると思われる。

図表 3-14 男女別・年代別の B&G 海洋センターを利用した理由（実数と比率）
（男性回答者）



単位は%	運動	教室参加	イベント参加	サークル参加	運動以外の利用	その他
10代	100.0					
20代	80.0			20.0		
30代	30.8	7.7	15.4		15.4	30.8
40代	40.0	10.0	20.0	10.0	5.0	15.0
50代	42.9		21.4	7.1	7.1	21.4
60代	50.0		18.8	6.3	25.0	
70代	100.0					
80代		33.3			66.7	
90代	100.0					
全世代	48.8	4.9	14.6	7.3	12.2	12.2

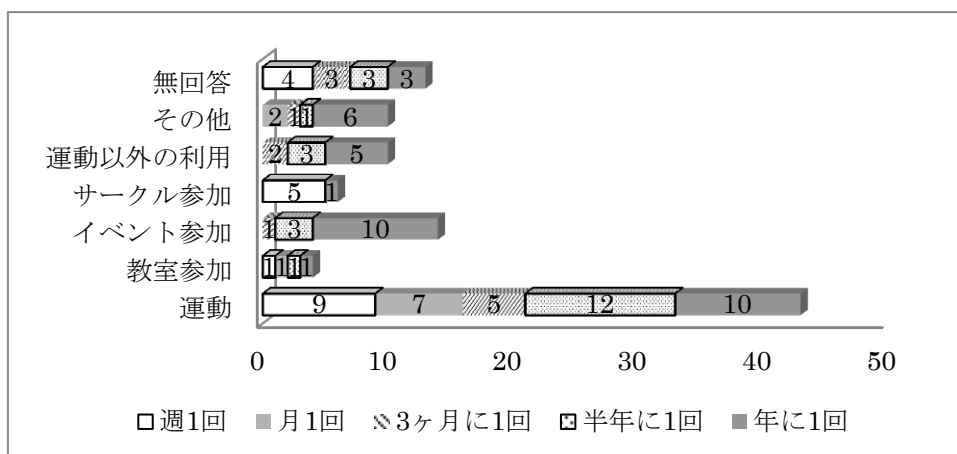
（女性回答者）



単位は%	運動	教室参加	イベント参加	サークル参加	運動以外の利用	その他
10代	100.0					
20代	33.3	16.7	50.0			
30代	14.3	14.3	28.6	7.1	14.3	21.4
40代	38.1	9.5	23.8	9.5	4.8	14.3
50代	60.0		6.7	26.7	6.7	
60代	27.3	9.1	9.1	9.1	22.7	22.7
70代	33.3	33.3	16.7		16.7	
80代	28.6	42.9	14.3			14.3
90代		50.0	50.0			
全世代	34.0	13.8	19.1	9.6	10.6	12.8

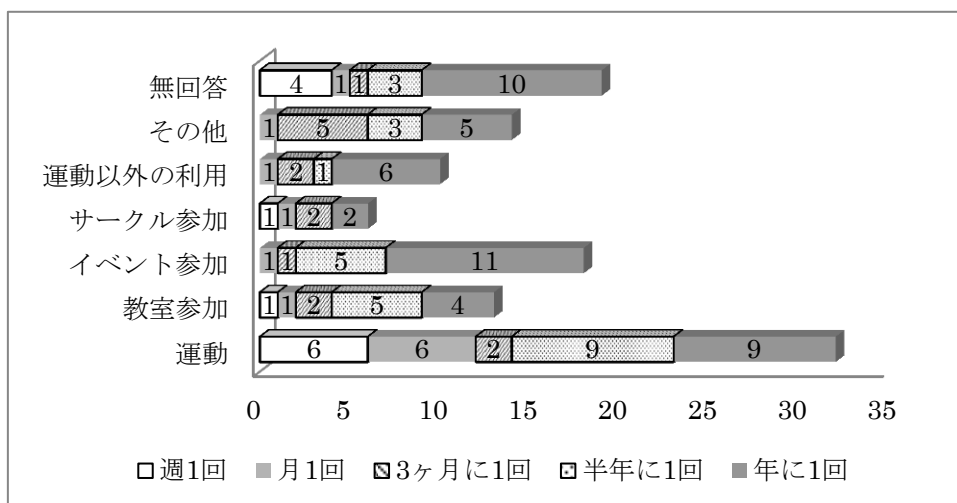
図表 3-15 は、回答者が B&G 海洋センターをどの程度の頻度で利用しているか、その理由は何かを整理したものである。利用頻度が高いほど、運動を理由にしている傾向にある。利用頻度を高めるには、住民が運動するためにより多く来たくなる施設にすることが鍵となりそうである。また、イベントへの参加等をきっかけに、住民を運動へ誘導していくことも利用を増加させることにつながるであろう。また、週 1 回利用すると回答した男性回答者の中ではサークル活動への参加が相対的に多い。定期的に活動するサークルの活動場所として B&G 海洋センターを活用してもらうことも良いかもしれない。

図表 3-15 B&G 海洋センターの利用頻度と利用した理由（実数と比率）
（男性回答者）



単位は実数と%	週1回	比率	月1回	比率	3ヶ月に1回	比率	半年に1回	比率	年に1回	比率
運動	9	47.4	7	70.0	5	41.7	12	52.2	10	27.8
教室参加	1	5.3	1	10.0		0.0	1	4.3	1	2.8
イベント参加		0.0		0.0	1	8.3	3	13.0	10	27.8
サークル参加	5	26.3		0.0		0.0		0.0	1	2.8
運動以外の利用		0.0		0.0	2	16.7	3	13.0	5	13.9
その他		0.0	2	20.0	1	8.3	1	4.3	6	16.7
無回答	4	21.1		0.0	3	25.0	3	13.0	3	8.3
合計	19	100.0	10	100.0	12	100.0	23	100.0	36	100.0

(女性回答者)



単位は実数と%	週1回	比率	月1回	比率	3ヶ月に1回	比率	半年に1回	比率	年に1回	比率
運動	6	50.0	6	50.0	2	13.3	9	34.6	9	19.1
教室参加	1	8.3	1	8.3	2	13.3	5	19.2	4	8.5
イベント参加		0.0	1	8.3	1	6.7	5	19.2	11	23.4
サークル参加	1	8.3	1	8.3	2	13.3		0.0	2	4.3
運動以外の利用		0.0	1	8.3	2	13.3	1	3.8	6	12.8
その他		0.0	1	8.3	5	33.3	3	11.5	5	10.6
無回答	4	33.3	1	8.3	1	6.7	3	11.5	10	21.3
合計	12	100.0	12	100.0	15	100.0	26	100.0	47	100.0